

**豊郷町まち・ひと・しごと創生
「人口ビジョン・総合戦略」に関するアンケート調査**

**町民アンケート
事業所アンケート**

－ 報 告 書 －

平成 27 年 11 月

豊郷町

目次

1	調査概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査概要	1
	(3) 報告書の見方	2
2	町民アンケート 調査結果	3
	(1) 回答者の属性	3
	(2) まちの暮らしやすさについて	6
	(3) 働くことについて	9
	(4) 結婚について	14
	(5) 出産・育児について	18
	(6) 人口減少社会と、まちづくりについて	21
3	事業所アンケート 調査結果	26
	(1) 「地方創生」について	26
	(2) 事業所について	28
	(3) 事業所の従業員について	31
	(4) 事業所の今後の意向などについて	36
	(5) 豊郷町について	39

1 調査概要

(1) 調査の目的

将来の町の人口を展望する「人口ビジョン」と、地域の実情に応じた今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策内容をまとめた「総合戦略」策定にあたり、基礎資料とするために行いました。

(2) 調査概要

【調査地域】

豊郷町全域

【調査対象】

- 町民アンケート:18歳以上の町内居住者から2,500人を無作為抽出
- 事業所アンケート:町内の100の事業所を無作為抽出

【調査方法】

郵送による配布・回収

【調査期間】

平成27年(2015年)6月

【回収結果】

	配布数	回収数	回収率
町民アンケート	2,500票	844票	33.8%
事業所アンケート	100票	45票	45.0%

(3) 報告書の見方

この報告書の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

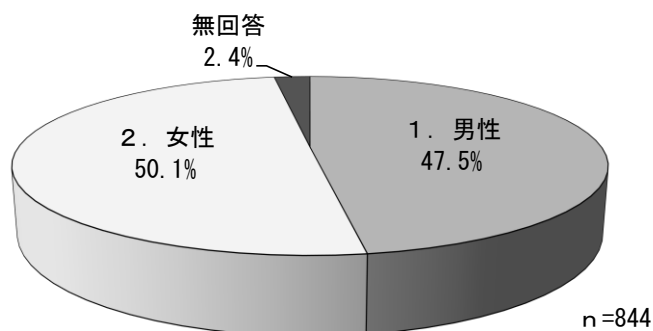
- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を 100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。このため、全ての割合の合計が 100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が 100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表します。

2 町民アンケート 調査結果

(1) 回答者の属性

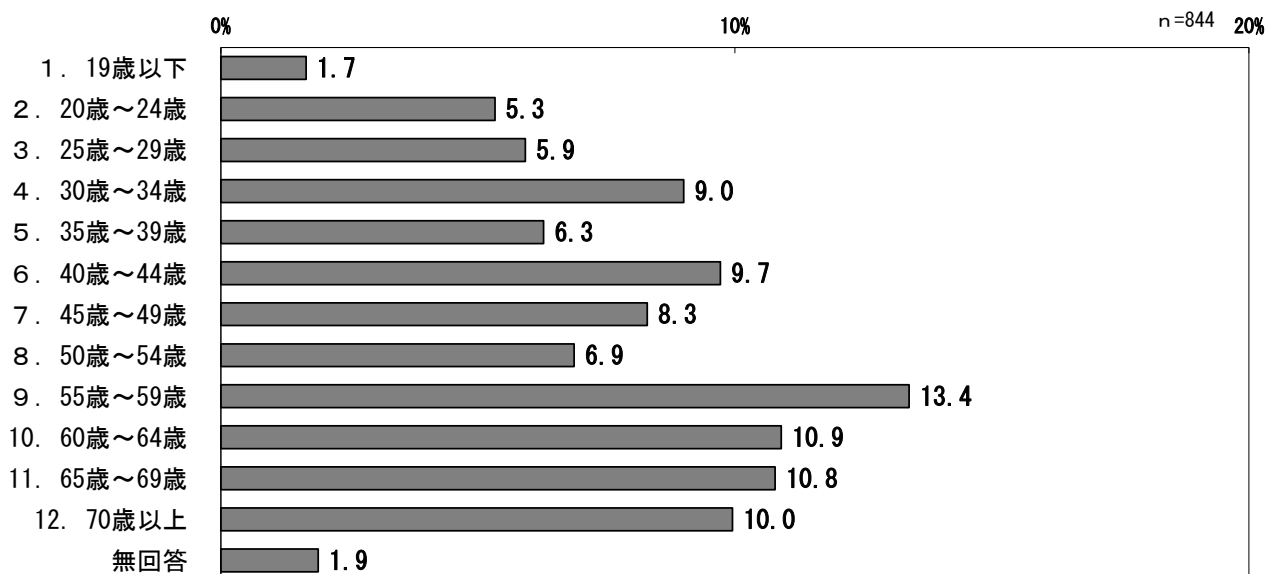
問 1. 性別 (1つに○)

今回の回答者の性別は、「男性」が 47.5%、「女性」が 50.1%となっています。



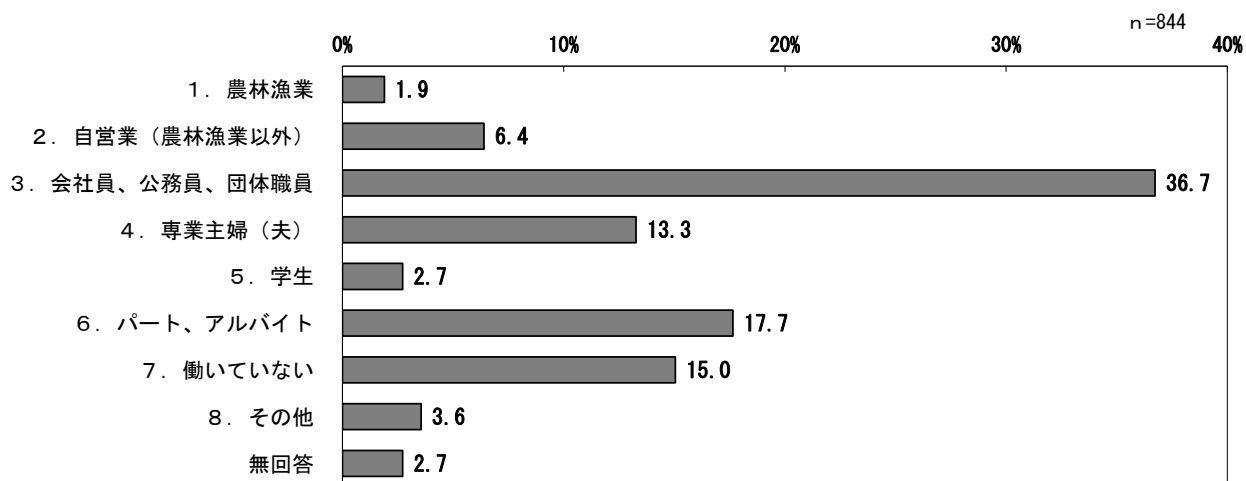
問 2. 年齢 (1つに○)

「55歳～59歳」が 13.4%で最も多く、次いで「60歳～64歳」が 10.9%、「65歳～69歳」が 10.8%、「70歳以上」が 10.0%、「40歳～44歳」が 9.7%となっています。



問 3. ご職業(主たるもの) (1つに〇)

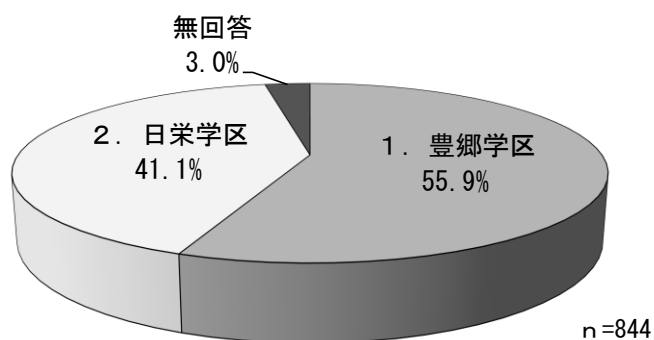
「会社員、公務員、団体職員」が 36.7%で最も多く、次いで「パート、アルバイト」が 17.7%、「働いていない」が 15.0%、「専業主婦(夫)」が 13.3%、「自営業(農林漁業以外)」が 6.4%となっています。



●主な「その他」記入:派遣社員/期間社員/福祉作業所/自営手伝い/など

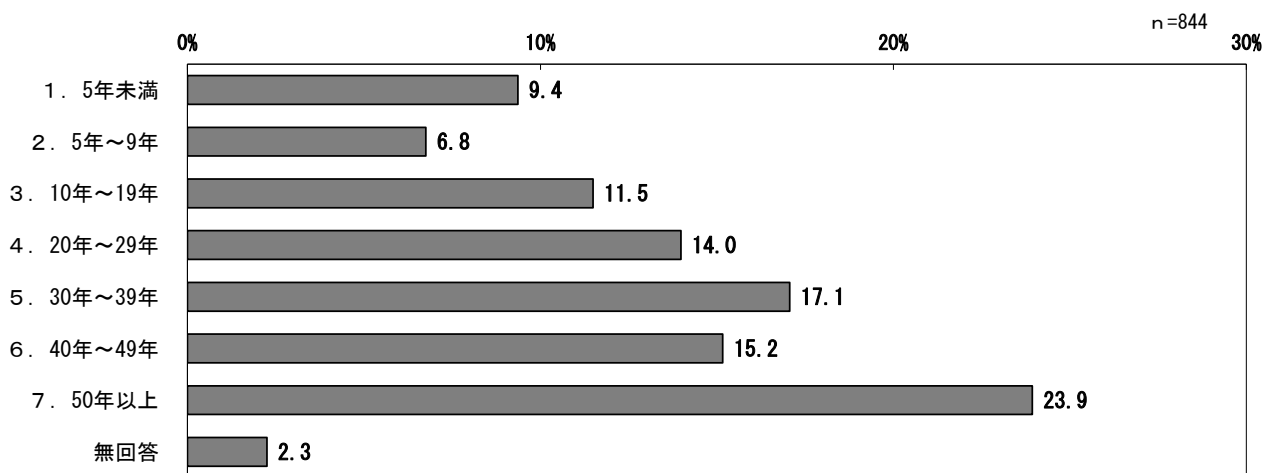
問 4. お住まいの地区(小学校区でお答えください) (1つに〇)

今回の回答者の居住地区は、「豊郷学区」が 55.9%、「日栄学区」が 41.1%となっています。



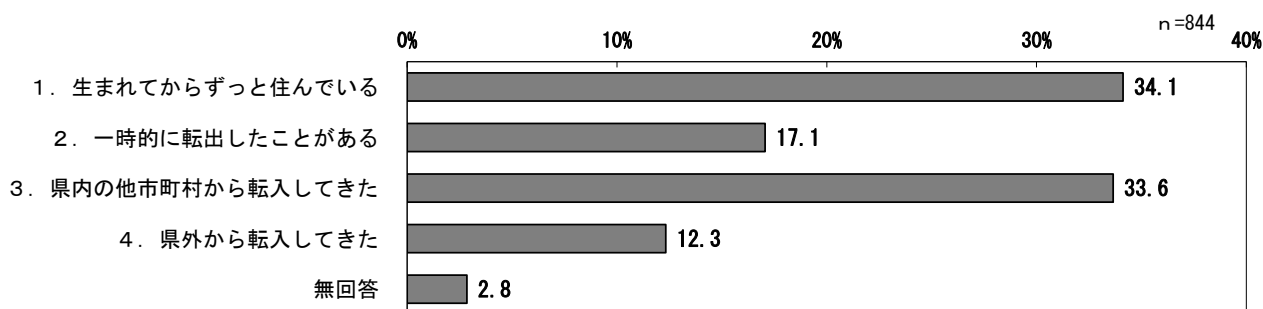
問 5. 豊郷町に住んで何年くらいですか。(1つに○)

「50年以上」が23.9%で最も多く、次いで「30年～39年」が17.1%、「40年～49年」が15.2%、「20年～29年」が14.0%、「10年～19年」が11.5%となっています。



問 6. 豊郷町での居住歴 (1つに○)

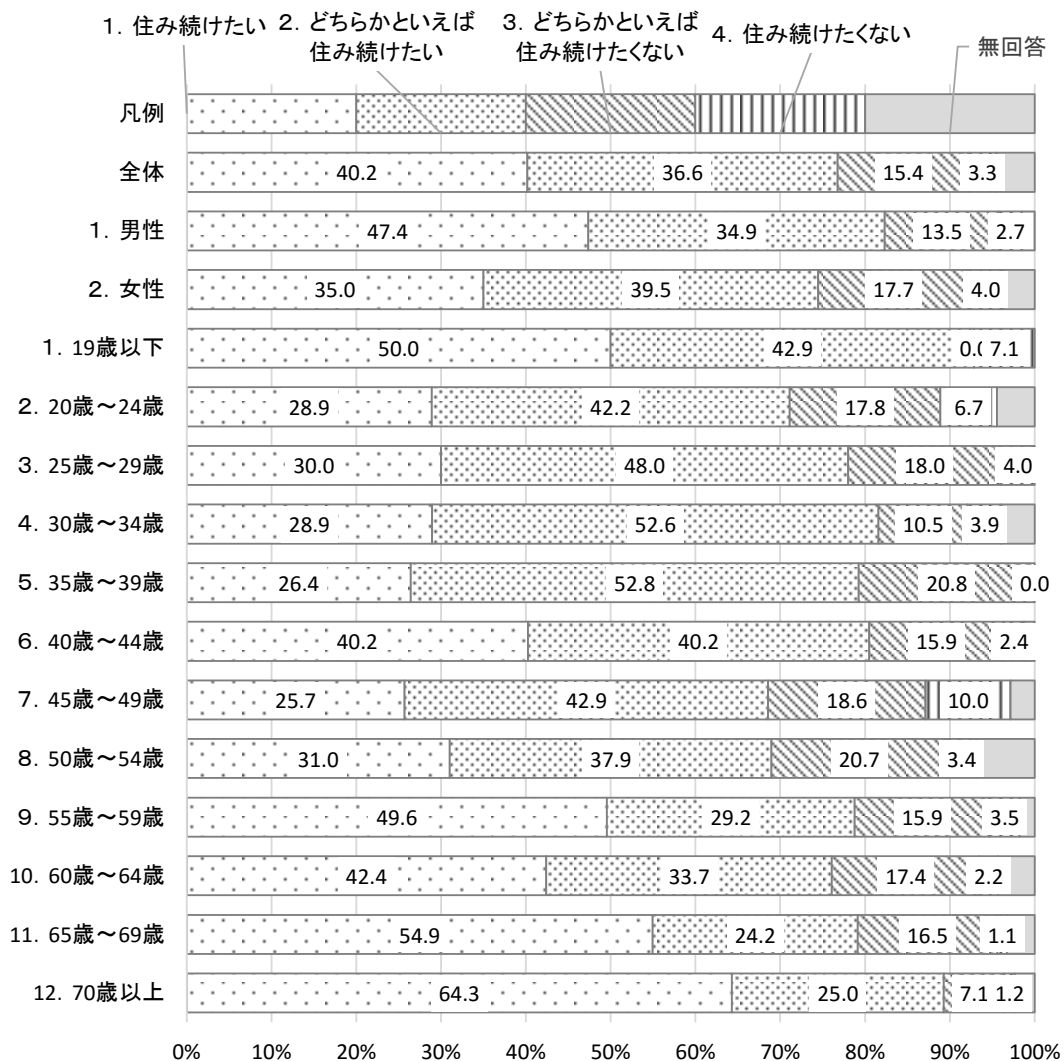
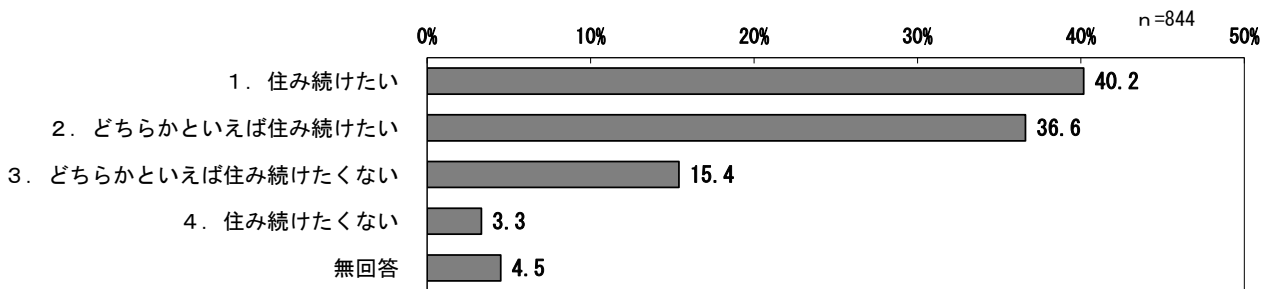
「生まれてからずっと住んでいる」が34.1%で最も多く、次いで「県内の他市町村から転入してきた」が33.6%、「一時的に転出したことがある」が17.1%、「県外から転入してきた」が12.3%となっています。



(2) まちの暮らしやすさについて

問 7. あなたは、これからも豊郷町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

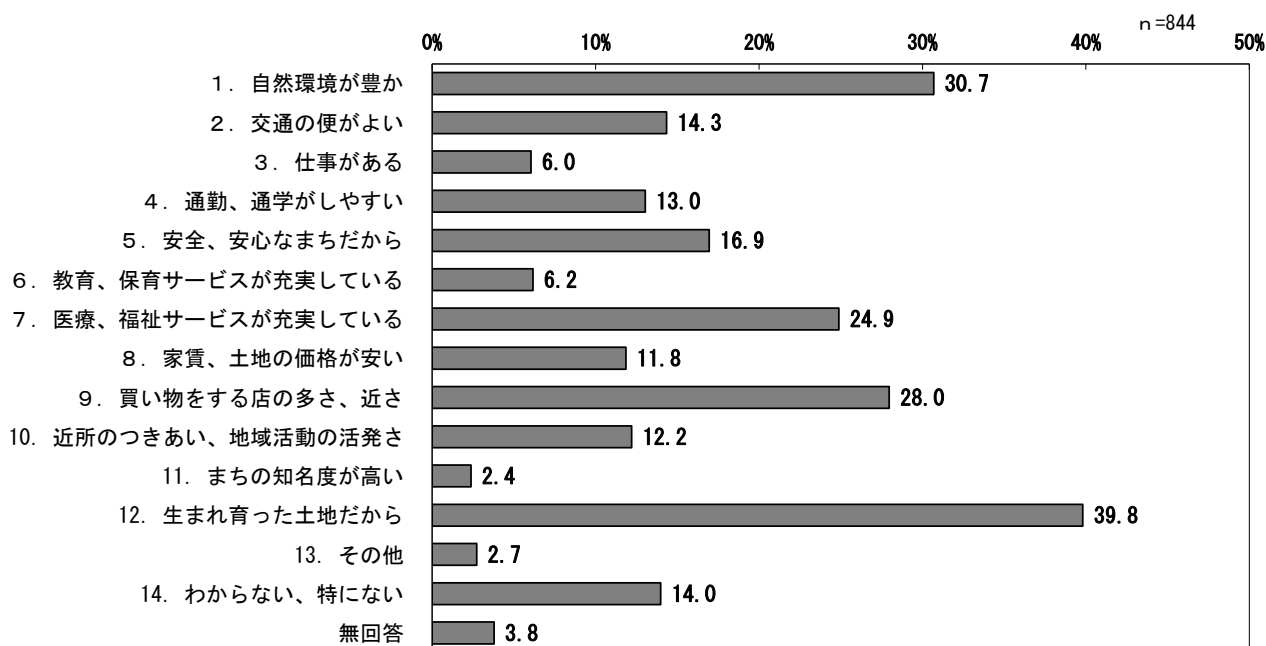
「住み続けたい」が 40.2%で最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が 36.6%、「どちらかといえば住み続けたくない」が 15.4%、「住み続けたくない」が 3.3%となっています。
住み続けたい率は、男性の方が高く、19歳以下と70歳以上で高くなっています。



問 8. 豊郷町が暮らしやすいと感じる点はどういった点ですか。(あてはまるものすべてに○)

「生まれ育った土地だから」が 39.8%で最も多く、次いで「自然環境が豊か」が 30.7%、「買い物を
する店の多さ、近さ」が 28.0%、「医療、福祉サービスが充実している」が 24.9%、「安全、安心なま
ちだから」が 16.9%となっています。

20 代後半で「教育・保育サービス」、70 歳以上で「医療・福祉」、20 代前半で「自然環境」「近所
づきあい、地域活動」「生まれ育った土地」を挙げる率が高くなっています。



問	性別	年齢	1. 自然環境が豊か	2. 交通の便がよい	3. 仕事がある	4. 通勤、通学がしやすい	5. 安全、安心なまちだから	6. 教育、保育サービスが充実している	7. 医療、福祉サービスが充実している	8. 家賃、土地の価格が安い	9. 買い物をする店の多さ、近さ	10. 近所のつきあい、地域活動の活発さ	11. まちの知名度が高い	12. 生まれ育った土地だから	13. その他	14. わからない、特になし	無回答
問1	全体		30.7	14.3	6.0	13.0	16.9	6.2	24.9	11.8	28.0	12.2	2.4	39.8	2.7	14.0	3.8
	1. 男性		28.9	17.5	6.2	13.2	17.2	4.2	21.9	12.7	27.7	14.0	3.0	55.1	2.2	13.5	1.5
問2	2. 女性		33.6	12.1	6.1	13.5	17.0	8.3	28.8	11.1	29.3	10.9	1.9	27.0	3.3	14.9	2.1
	1. 19歳以下		28.6	28.6	0.0	28.6	21.4	0.0	14.3	14.3	42.9	21.4	0.0	57.1	7.1	21.4	0.0
	2. 20歳～24歳		44.4	4.4	0.0	2.2	6.7	2.2	8.9	6.7	11.1	24.4	4.4	64.4	2.2	15.6	4.4
	3. 25歳～29歳		30.0	12.0	4.0	12.0	12.0	14.0	20.0	26.0	18.0	12.0	0.0	46.0	4.0	16.0	2.0
	4. 30歳～34歳		25.0	13.2	2.6	13.2	14.5	13.2	34.2	13.2	22.4	7.9	2.6	38.2	7.9	6.6	1.3
	5. 35歳～39歳		15.1	3.8	1.9	18.9	5.7	7.5	28.3	17.0	30.2	7.5	1.9	34.0	1.9	17.0	0.0
	6. 40歳～44歳		29.3	7.3	6.1	17.1	15.9	12.2	30.5	14.6	22.0	9.8	2.4	31.7	4.9	17.1	1.2
	7. 45歳～49歳		15.7	7.1	5.7	17.1	10.0	7.1	24.3	22.9	22.9	4.3	0.0	42.9	0.0	18.6	2.9
	8. 50歳～54歳		29.3	10.3	6.9	15.5	15.5	5.2	20.7	10.3	32.8	8.6	1.7	32.8	0.0	19.0	1.7
	9. 55歳～59歳		36.3	18.6	8.8	17.7	18.6	0.0	22.1	11.5	28.3	15.0	1.8	44.2	3.5	8.0	2.7
	10. 60歳～64歳		34.8	19.6	12.0	10.9	20.7	3.3	22.8	9.8	31.5	8.7	3.3	37.0	3.3	16.3	1.1
	11. 65歳～69歳		42.9	19.8	5.5	8.8	15.4	2.2	23.1	3.3	36.3	19.8	4.4	39.6	0.0	17.6	2.2
12. 70歳以上		34.5	27.4	8.3	7.1	39.3	7.1	36.9	4.8	42.9	16.7	3.6	40.5	1.2	9.5	3.6	

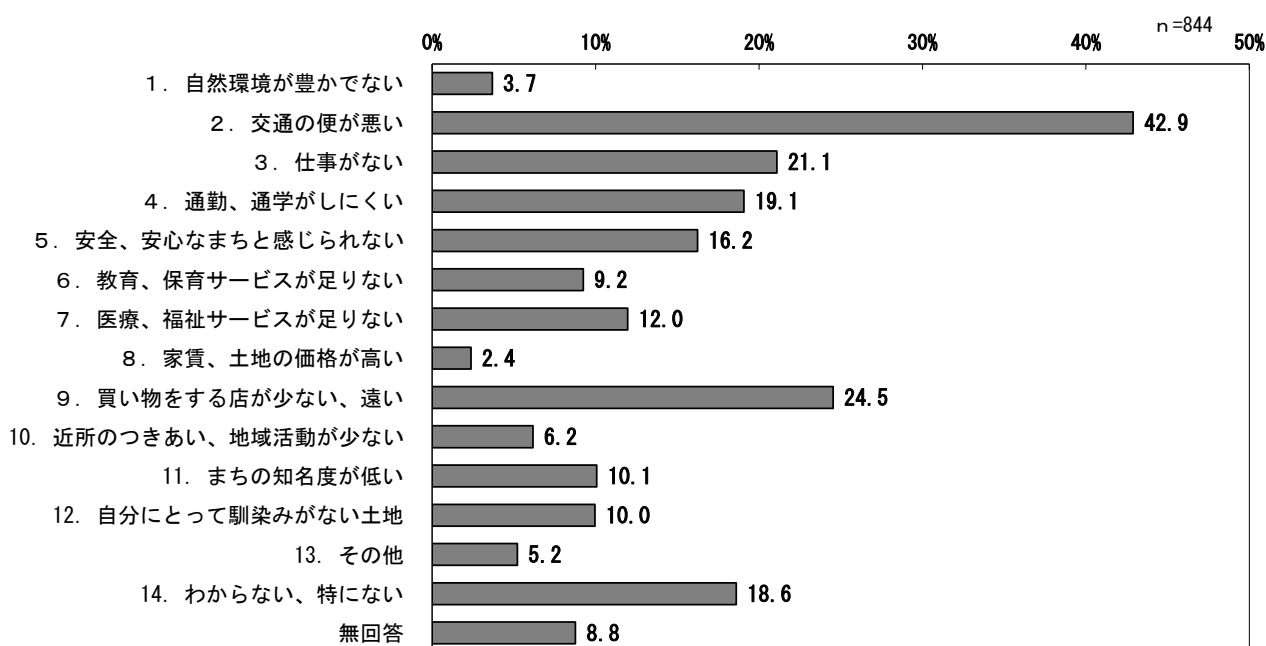
●主な「その他」記入: 自然災害がない(3)／のんびりしていて落ち着いた雰囲気／高速道路が近い／国道が近いわりに静かで空気がきれい／地区の親近者以外の方が転入されていない所がよい／ほどほどの田舎でありながらも住むのにほとんど苦勞する点がない／子どもの医療費タダの期間が他の町より長め／金融機関が多い／家や土地がある／交通マナーが悪くはない／など

問 9. 豊郷町が暮らしにくいと感じる点はどういった点ですか。(あてはまるものすべてに○)

「交通の便が悪い」が 42.9%で最も多く、次いで「買い物をする店が少ない、遠い」が 24.5%、「仕事がない」が 21.1%、「通勤、通学がしにくい」が 19.1%となっています。

30 代前半で「通勤・通学の不便」「安心・安全と感じられない」「教育、保育サービスの不足」、40 代後半で「自然環境」「交通の便」「医療、福祉の不足」「家賃、土地の価格」を挙げる率が高くなっています。

また、19 歳以下では「仕事がない」、20 代前半では「買い物をする店が少ない、遠い」を挙げる率が高くなっています。



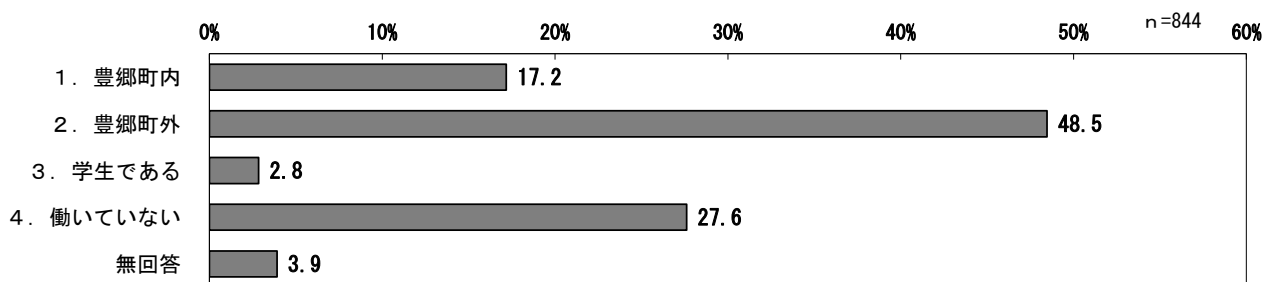
問	性別	1. 自然環境が豊かでない	2. 交通の便が悪い	3. 仕事がない	4. 通勤、通学がしにくい	5. 安全、安心なまちと感じられない	6. 教育、保育サービスが足りない	7. 医療、福祉サービスが足りない	8. 家賃、土地の価格が高い	9. 買い物をする店が少ない、遠い	10. 近所のつきあい、地域活動が少ない	11. まちの知名度が低い	12. 自分にとって馴染みがない土地	13. その他	14. わからない、特にない	無回答
問1	全体	3.7	42.9	21.1	19.1	16.2	9.2	12.0	2.4	24.5	6.2	10.1	10.0	5.2	18.6	8.8
	1. 男性	3.7	38.7	22.9	16.2	16.7	9.2	15.5	3.2	21.7	6.5	12.2	6.7	4.2	22.9	7.2
問2	2. 女性	3.8	48.2	20.1	22.5	16.5	9.7	9.0	1.7	27.7	6.1	8.3	13.5	6.4	15.1	6.9
	1. 19歳以下	7.1	28.6	35.7	21.4	7.1	7.1	7.1	0.0	21.4	0.0	14.3	0.0	7.1	28.6	7.1
	2. 20歳～24歳	0.0	53.3	24.4	22.2	15.6	4.4	11.1	0.0	46.7	2.2	8.9	8.9	4.4	15.6	6.7
	3. 25歳～29歳	4.0	58.0	18.0	26.0	12.0	4.0	10.0	2.0	30.0	4.0	4.0	12.0	2.0	14.0	2.0
	4. 30歳～34歳	2.6	42.1	18.4	31.6	26.3	17.1	13.2	0.0	32.9	2.6	6.6	10.5	2.6	15.8	6.6
	5. 35歳～39歳	5.7	43.4	13.2	18.9	15.1	9.4	7.5	0.0	17.0	1.9	3.8	7.5	15.1	28.3	1.9
	6. 40歳～44歳	4.9	53.7	26.8	25.6	22.0	7.3	8.5	3.7	26.8	4.9	6.1	14.6	6.1	19.5	1.2
	7. 45歳～49歳	8.6	65.7	28.6	25.7	20.0	8.6	18.6	4.3	24.3	11.4	15.7	15.7	4.3	17.1	0.0
	8. 50歳～54歳	1.7	48.3	20.7	13.8	19.0	3.4	10.3	3.4	15.5	5.2	13.8	17.2	10.3	13.8	5.2
	9. 55歳～59歳	0.9	41.6	28.3	15.9	12.4	14.2	16.8	3.5	26.5	6.2	9.7	10.6	6.2	15.9	8.0
	10. 60歳～64歳	5.4	29.3	16.3	16.3	16.3	12.0	14.1	3.3	23.9	9.8	13.0	5.4	6.5	19.6	7.6
	11. 65歳～69歳	5.5	37.4	20.9	16.5	19.8	9.9	14.3	2.2	18.7	6.6	9.9	8.8	2.2	18.7	13.2
12. 70歳以上	1.2	27.4	13.1	6.0	6.0	6.0	6.0	2.4	19.0	10.7	16.7	3.6	1.2	27.4	19.0	

●主な「その他」記入:「けいおん」関係者のマナーの悪さ／公共交通が不便(3)／中仙道がせまい・危ない(3)／地域活動が多すぎる・近所づきあいが面倒(8)／住人のマナーが悪い／治安が悪い／地域独自性を打ち出していない／など

(3) 働くことについて

問 10. あなたは現在、どこで働いていますか(就労形態は問いません)。(1つに○)

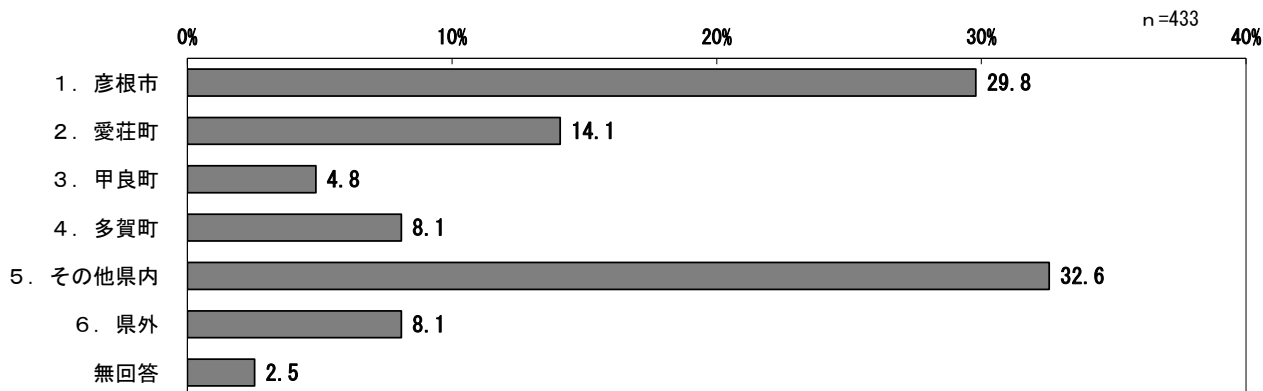
「豊郷町外」が 48.5%で最も多く、次いで「働いていない」が 27.6%、「豊郷町内」が 17.2%、「学生である」が 2.8%となっています。



▼問 10. で「2. 豊郷町外」、「3. 学生である」を選択した方にうかがいます。

問 10-1. どこで働いていますか、または、どこへ通学していますか。(1つに○)

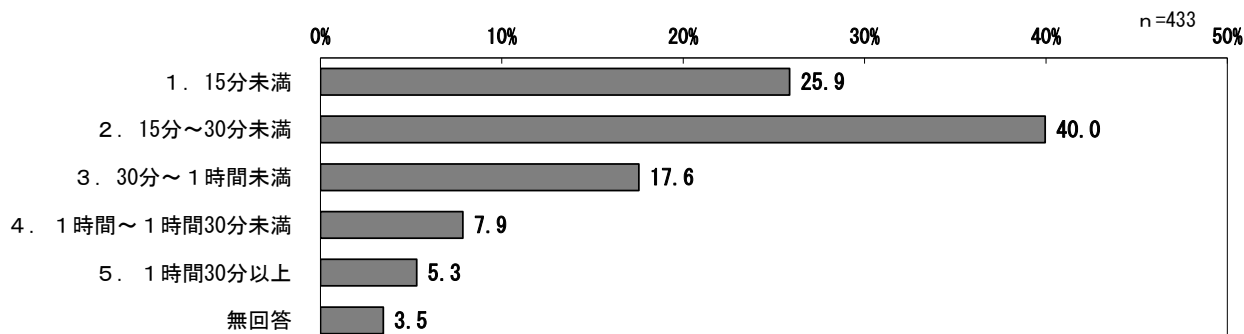
「その他県内」が 32.6%で最も多く、次いで「彦根市」が 29.8%、「愛荘町」が 14.1%、「多賀町」及び「県外」が 8.1%となっています。



●その他県内: 東近江市(40、+八日市 4)／近江八幡市(15)／大津市(10)／日野町(8)／野洲市(7)／米原市(5)／など
 ●県外: 京都(11)／大阪(7)／など
 ※()内は回答数

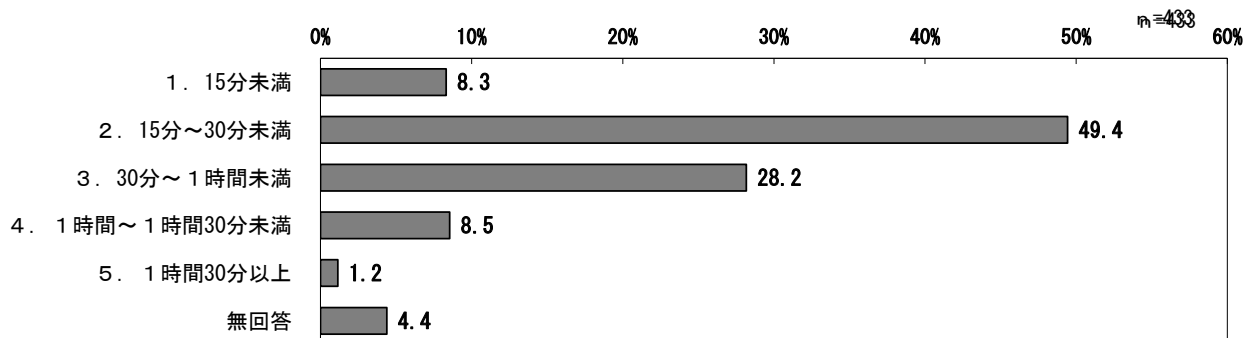
問 10-2. 通勤・通学等に要する時間はどのくらいですか。(1つに○)

「15分～30分未満」が40.0%で最も多く、次いで「15分未満」が25.9%、「30分～1時間未満」が17.6%、「1時間～1時間30分未満」が7.9%、「1時間30分以上」が5.3%となっています。



問 10-3. 通勤・通学等に要する時間として許容できる時間はどれくらいですか。(1つに○)

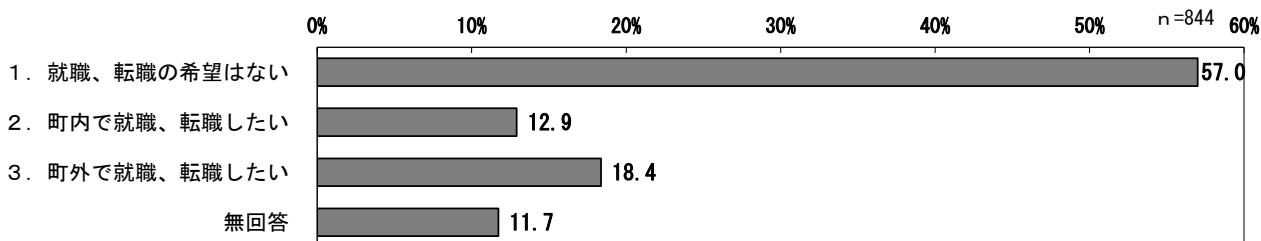
「15分～30分未満」が49.4%で最も多く、次いで「30分～1時間未満」が28.2%、「1時間～1時間30分未満」が8.5%、「15分未満」が8.3%、「1時間30分以上」が1.2%となっています。全体的に、若い世代の方が通勤・通学で許容できる時間が長くなっています。



		1. 15分未満	2. 15分～30分未満	3. 30分～1時間未満	4. 1時間～1時間30分未満	5. 1時間30分以上	無回答
全体		8.3	49.4	28.2	8.5	1.2	4.4
問1 性別	1. 男性	6.1	43.2	32.8	10.5	1.7	5.7
	2. 女性	10.7	56.1	24.0	6.1	0.5	2.6
問2 年齢	1. 19歳以下	0.0	8.3	25.0	58.3	8.3	0.0
	2. 20歳～24歳	5.4	21.6	40.5	18.9	5.4	8.1
	3. 25歳～29歳	7.9	50.0	34.2	7.9	0.0	0.0
	4. 30歳～34歳	7.7	51.9	30.8	5.8	0.0	3.8
	5. 35歳～39歳	2.8	55.6	30.6	2.8	0.0	8.3
	6. 40歳～44歳	7.7	55.8	26.9	5.8	0.0	3.8
	7. 45歳～49歳	15.9	36.4	40.9	0.0	0.0	6.8
	8. 50歳～54歳	2.6	71.1	18.4	7.9	0.0	0.0
	9. 55歳～59歳	9.5	57.1	22.2	6.3	1.6	3.2
	10. 60歳～64歳	13.8	51.7	17.2	17.2	0.0	0.0
	11. 65歳～69歳	15.8	47.4	26.3	0.0	0.0	10.5
	12. 70歳以上	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7

問 11. 今後、新たに職に就く、もしくは転職の希望はありますか。(1つに○)

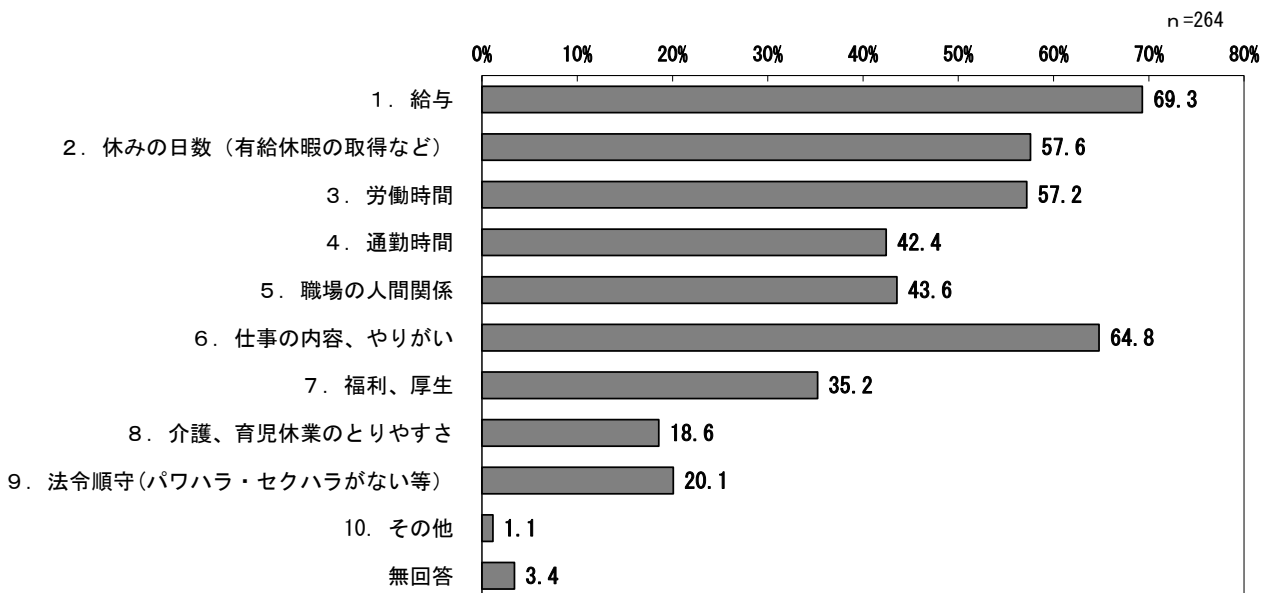
「就職、転職の希望はない」が57.0%で最も多く、次いで「町外で就職、転職したい」が18.4%、「町内で就職、転職したい」が12.9%となっています。



▼問 11 で「2. 町内で就職・転職したい」、「3. 町外で就職・転職したい」を選択した方にかがいます。

問 11-1. (将来的に)仕事を選択する上で何を重視しますか。(あてはまるものすべてに○)

「給与」が69.3%で最も多く、次いで「仕事の内容、やりがい」が64.8%、「休みの日数(有給休暇の取得など)」が57.6%、「労働時間」が57.2%、「職場の人間関係」が43.6%、「通勤時間」が42.4%となっています。



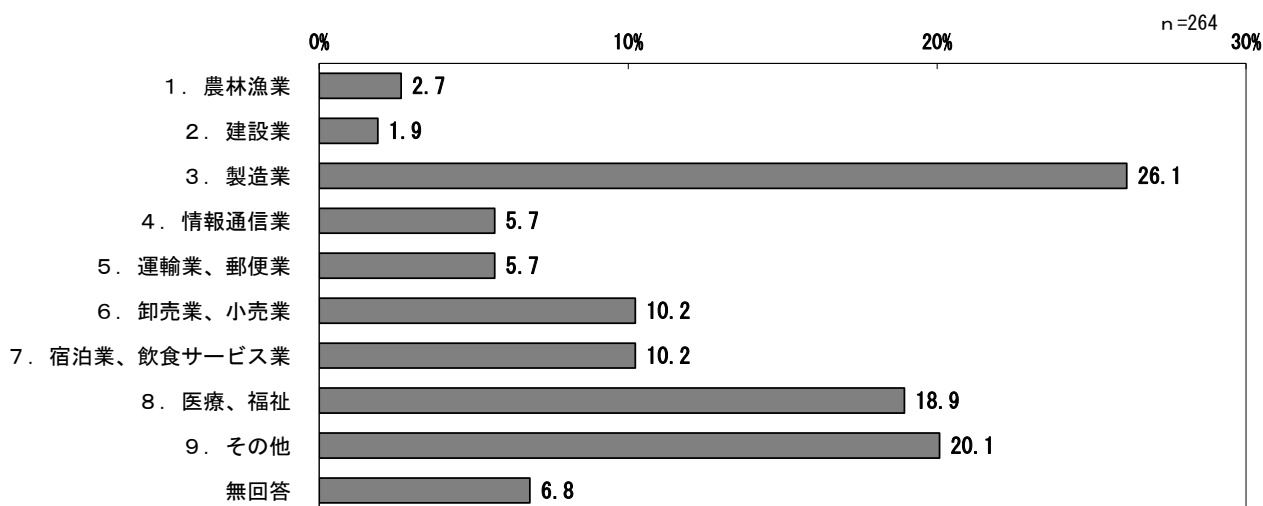
19 歳以下では「仕事の内容、やりがい」「通勤時間」が多く、30 代では「労働時間」「通勤時間」「福利、厚生」の率が上がり、「法令順守」も若い世代より高くなっています。
 相対的に 50 代で「職場の人間関係」の回答率が多くなっています。

		1. 給与	2. 休みの日数 (有給休暇の取得)	3. 労働時間	4. 通勤時間	5. 職場の人間関係	6. 仕事の内容、やりがい	7. 福利、厚生	8. 介護、育児休業のとりやすさ	9. 法令順守(パワハラ・セクハラ)	10. その他	無回答
全体		69.3	57.6	57.2	42.4	43.6	64.8	35.2	18.6	20.1	1.1	3.4
問1 性別	1. 男性	62.6	50.5	41.1	29.0	32.7	61.7	29.0	9.3	21.5	0.9	6.5
	2. 女性	72.8	63.6	69.5	53.0	51.0	65.6	39.7	25.2	19.9	1.3	1.3
問2 年齢	1. 19歳以下	50.0	70.0	30.0	60.0	50.0	100.0	40.0	40.0	10.0	0.0	0.0
	2. 20歳～24歳	75.0	70.8	45.8	54.2	45.8	70.8	33.3	4.2	8.3	0.0	8.3
	3. 25歳～29歳	82.6	60.9	65.2	43.5	39.1	39.1	39.1	13.0	8.7	0.0	0.0
	4. 30歳～34歳	84.6	64.1	66.7	41.0	35.9	61.5	56.4	35.9	33.3	0.0	2.6
	5. 35歳～39歳	60.0	46.7	73.3	60.0	46.7	73.3	33.3	40.0	33.3	13.3	0.0
	6. 40歳～44歳	75.0	56.3	62.5	31.3	43.8	75.0	21.9	12.5	31.3	0.0	0.0
	7. 45歳～49歳	90.5	71.4	71.4	57.1	42.9	66.7	33.3	23.8	28.6	0.0	0.0
	8. 50歳～54歳	70.0	55.0	55.0	35.0	55.0	55.0	30.0	15.0	15.0	5.0	5.0
	9. 55歳～59歳	58.8	64.7	58.8	41.2	52.9	70.6	29.4	11.8	17.6	0.0	0.0
	10. 60歳～64歳	61.1	44.4	66.7	50.0	38.9	55.6	27.8	11.1	16.7	0.0	11.1
	11. 65歳～69歳	26.7	26.7	13.3	13.3	46.7	40.0	33.3	6.7	6.7	0.0	13.3
	12. 70歳以上	14.3	28.6	42.9	42.9	0.0	71.4	42.9	14.3	14.3	0.0	14.3

問 11-2. 就労する場合、どの分野の仕事希望しますか。(1つに○)

「製造業」が 26.1%で最も多く、次いで「その他」が 20.1%、「医療、福祉」が 18.9%、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」が 10.2%となっています。

※複数回答多数のため、マルチアンサーとして集計



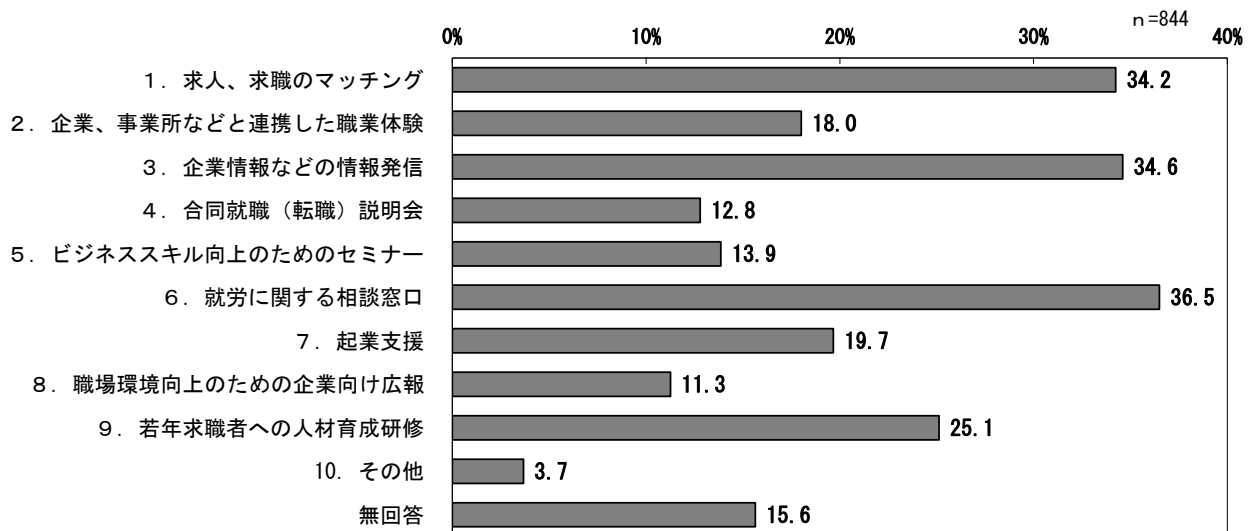
●主な「その他」記入: 公務/教育/保育士/事務職なら業種は問わない/美容関係/など

50歳未満では「農林漁業」が0%となっています。60代で「製造業」が多く、19歳以下では「医療、福祉」「宿泊業、飲食サービス業」「運輸業、郵便業」が高くなっています。

		1. 農林漁業	2. 建設業	3. 製造業	4. 情報通信業	5. 運輸業、郵便業	6. 卸売業、小売業	7. 宿泊業、飲食サービス業	8. 医療、福祉	9. その他	無回答
全体		2.7	1.9	26.1	5.7	5.7	10.2	10.2	18.9	20.1	6.8
問1 性別	1. 男性	3.7	3.7	33.6	2.8	13.1	7.5	6.5	6.5	20.6	6.5
	2. 女性	1.3	0.7	20.5	7.3	0.7	12.6	12.6	27.2	19.9	7.3
問2 年齢	1. 19歳以下	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0
	2. 20歳～24歳	0.0	4.2	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	12.5	25.0	12.5
	3. 25歳～29歳	0.0	0.0	34.8	4.3	0.0	13.0	8.7	30.4	21.7	0.0
	4. 30歳～34歳	0.0	2.6	25.6	7.7	5.1	15.4	12.8	25.6	17.9	2.6
	5. 35歳～39歳	0.0	0.0	26.7	0.0	6.7	6.7	13.3	6.7	26.7	13.3
	6. 40歳～44歳	0.0	3.1	21.9	6.3	3.1	9.4	0.0	25.0	25.0	6.3
	7. 45歳～49歳	0.0	0.0	33.3	4.8	14.3	4.8	19.0	14.3	19.0	4.8
	8. 50歳～54歳	10.0	0.0	20.0	10.0	0.0	5.0	10.0	20.0	15.0	15.0
	9. 55歳～59歳	8.8	0.0	23.5	11.8	8.8	5.9	8.8	11.8	17.6	2.9
	10. 60歳～64歳	0.0	5.6	44.4	0.0	5.6	16.7	0.0	11.1	16.7	11.1
	11. 65歳～69歳	6.7	0.0	13.3	6.7	6.7	20.0	13.3	6.7	20.0	6.7
	12. 70歳以上	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	28.6

問 12. 町民の就労機会の向上等に向けて、町が重点的に取り組むべきと感じるものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

「就労に関する相談窓口」が 36.5%で最も多く、次いで「企業情報などの情報発信」が 34.6%、「求人、求職のマッチング」が 34.2%、「若年求職者への人材育成研修」が 25.1%、「起業支援」が 19.7%となっています。



●主な「その他」記入：企業誘致（多数）／若年者の教育の充実／資格取得の支援／法人税を安くして大きな企業をよびこむ／行政がもっと窓口に／保育所の充実、町が取りくむ必要なし／など

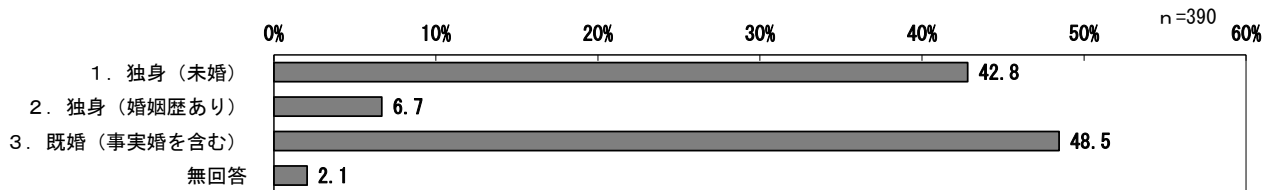
【18歳から50歳未満の方にかかっています】

(4) 結婚について

問 13. あなたは現在、結婚されていますか。(1つに○)

※問 2「年齢」で 50 歳未満と回答した 390 人に絞り込んで集計(以下、問18まで同)

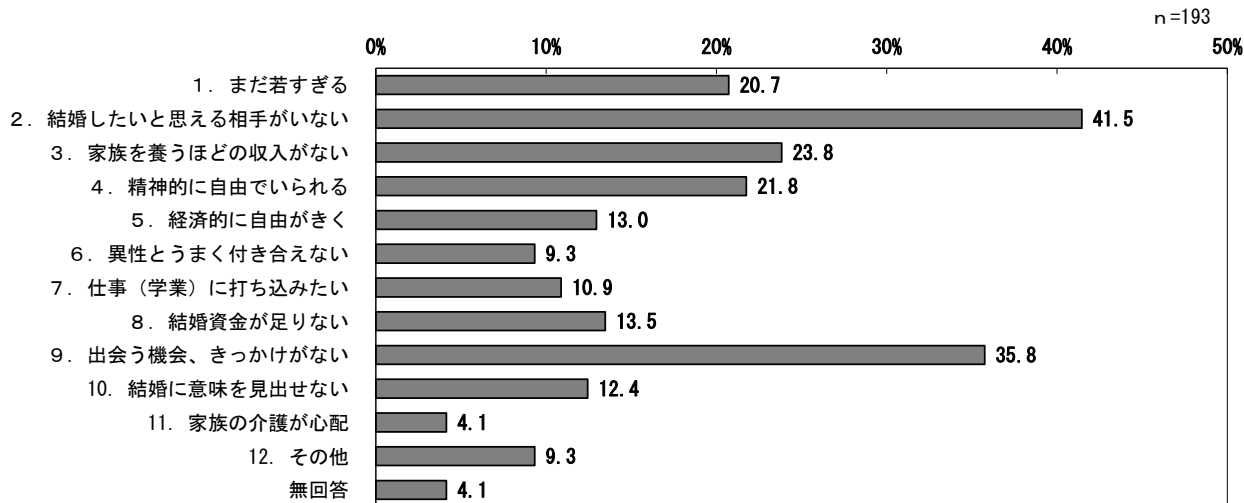
「既婚(事実婚を含む)」が 48.5%で最も多く、次いで「独身(未婚)」が 42.8%、「独身(婚姻歴あり)」が 6.7%となっています。



▼問 13 で「1. 独身(未婚)」、「2. 独身(婚姻歴あり)」を選択した方にかかっています。

問 13-1. 現在、結婚されていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「結婚したいと思える相手がない」が 41.5%で最も多く、次いで「出会う機会、きっかけがない」が 35.8%、「家族を養うほどの収入がない」が 23.8%、「精神的に自由でいられる」が 21.8%、「まだ若すぎる」が 20.7%となっています。

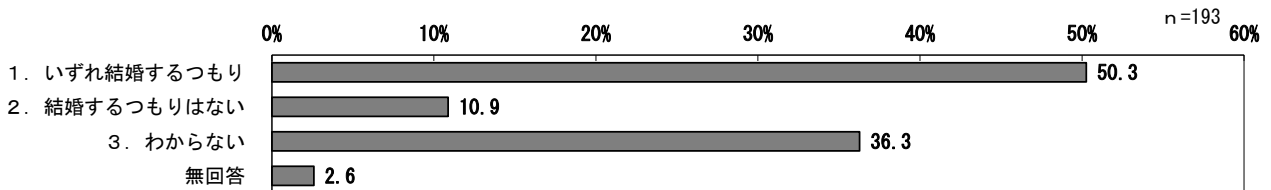


「まだ若すぎる」「仕事(学業)に打ち込みたい」「結婚資金が足りない」「異性とうまく付き合えない」は 19 歳以下が高い比率となっています。「家族を養うほどの収入がない」は 20 代前半が高く、「精神的に自由でいられる」は 40 代後半が高くなっています。

		問13-1 結婚していない理由													
		1. まだ若すぎる	2. 結婚したいと思える相手がいらない	3. 家族を養うほどの収入がない	4. 精神的に自由でいられない	5. 経済的に自由がきく	6. 異性とうまく付き合えない	7. 仕事(学業)に打ち込みみたい	8. 結婚資金が足りない	9. 出会う機会、きっかけがない	10. 結婚に意味を見出せない	11. 家族の介護が心配	12. その他	無回答	n
問1	全体	20.7	41.5	23.8	21.8	13.0	9.3	10.9	13.5	35.8	12.4	4.1	9.3	4.1	193
問1	性別														
	1. 男性	23.7	37.1	36.1	24.7	18.6	12.4	8.2	15.5	41.2	10.3	2.1	6.2	4.1	97
	2. 女性	17.7	45.8	11.5	18.8	7.3	6.3	13.5	11.5	30.2	14.6	6.3	12.5	4.2	96
問2	年齢														
	1. 19歳以下	76.9	23.1	30.8	15.4	0.0	15.4	38.5	23.1	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	13
	2. 20歳~24歳	59.5	19.0	31.0	7.1	11.9	9.5	21.4	19.0	23.8	11.9	0.0	9.5	2.4	42
	3. 25歳~29歳	14.7	50.0	23.5	26.5	26.5	8.8	8.8	17.6	44.1	17.6	2.9	11.8	2.9	34
	4. 30歳~34歳	0.0	48.6	25.7	14.3	14.3	8.6	8.6	11.4	42.9	11.4	5.7	11.4	5.7	35
	5. 35歳~39歳	0.0	62.5	25.0	37.5	18.8	12.5	0.0	6.3	43.8	12.5	6.3	6.3	6.3	16
	6. 40歳~44歳	0.0	41.4	20.7	24.1	10.3	3.4	3.4	10.3	34.5	17.2	6.9	10.3	10.3	29
7. 45歳~49歳	0.0	54.2	8.3	41.7	0.0	12.5	0.0	4.2	41.7	4.2	8.3	8.3	0.0	24	

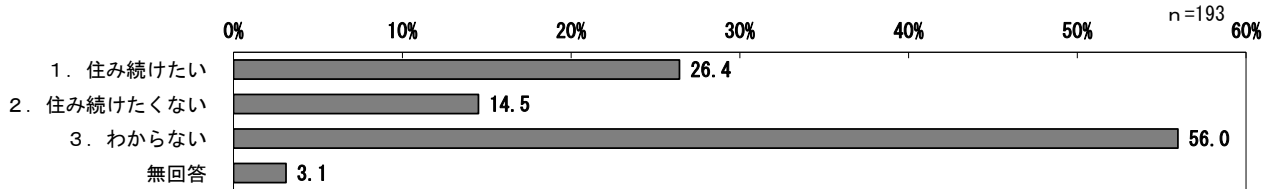
問 13-2. 今後の結婚に関するあなたの希望は次のうち、どれにあてはまりますか。(1つに○)

「いずれ結婚するつもり」が 50.3%で最も多く、次いで「わからない」が 36.3%、「結婚するつもりはない」が 10.9%となっています。結婚の希望は多いことがわかります。

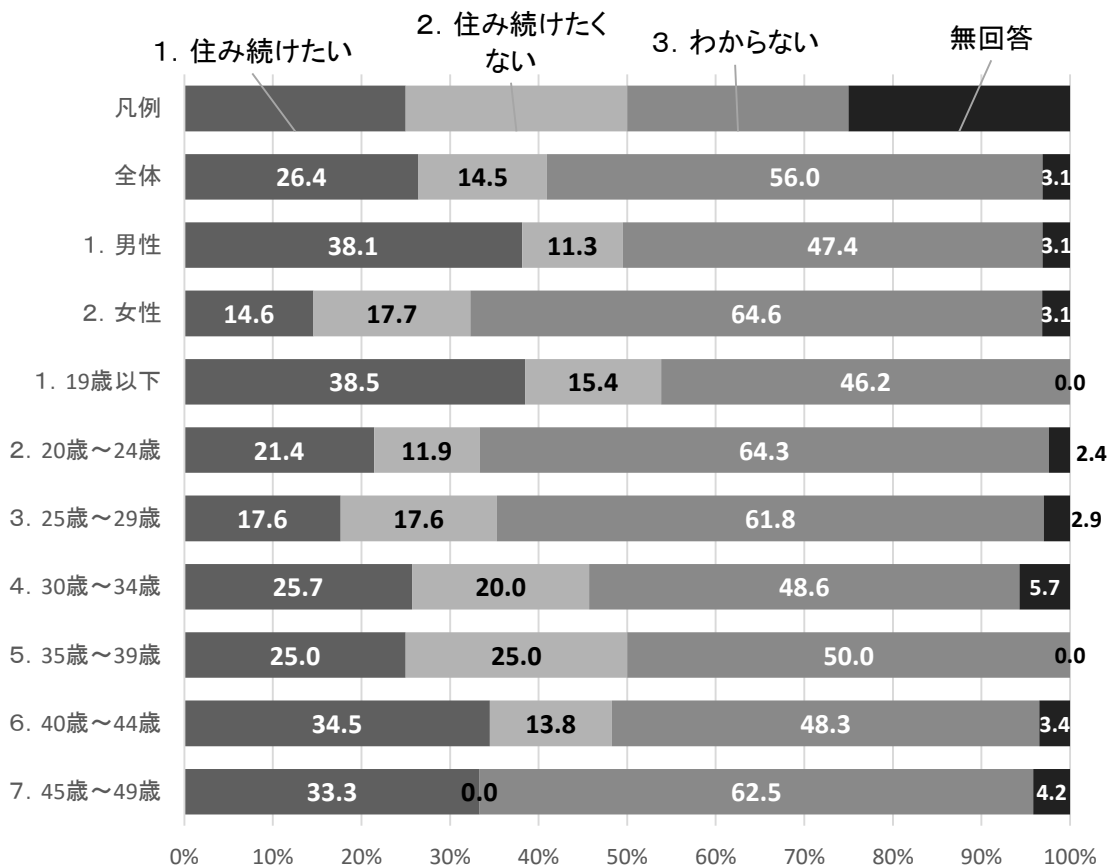


問 13-3. 結婚後も豊郷町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

「わからない」が 56.0%で最も多く、次いで「住み続けたい」が 26.4%、「住み続けたくない」が 14.5% となっています。

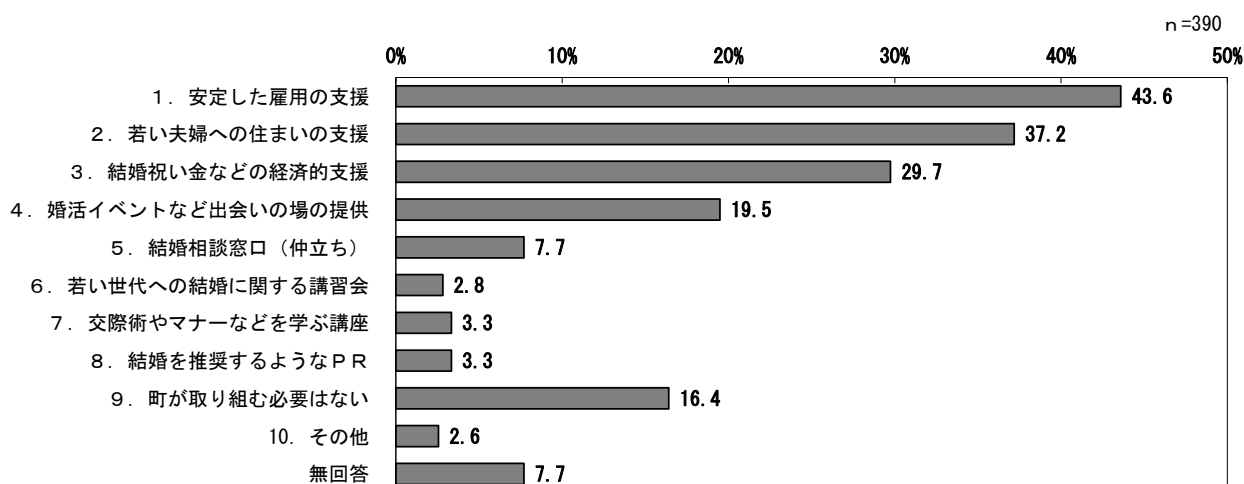


男性では「住み続けたい」の方が多く、女性では「住み続けたくない」の方が多くなっています。「住み続けたい」の率が高い年代は 19 歳以下、40 代以降となっています。



問 14. 結婚支援として町に取り組んでもらいたいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「安定した雇用の支援」が 43.6%で最も多く、次いで「若い夫婦への住まいの支援」が 37.2%、「結婚祝い金などの経済的支援」が 29.7%、「婚活イベントなど出会いの場の提供」が 19.5%、「町が取り組む必要はない」が 16.4%となっています。



「安定した雇用の支援」「交際術やマナーなどを学ぶ講座」は女性の方が率が高くなっています。「結婚祝い金などの経済的支援」「結婚相談窓口」「若い世代への結婚に関する講習会」は19歳以下で率が高く、「若い夫婦への住まいの支援」は20代後半、「安定した雇用の支援」「婚活イベントなど出会いの場の提供」は40代後半で高くなっています。

		問14 取り組んでもらいたい結婚支援											
		1. 安定した雇用の支援	2. 若い夫婦への住まいの支援	3. 結婚祝い金などの経済的支援	4. 婚活イベントなど出会いの場の提供	5. 結婚相談窓口 (仲立ち)	6. 若い世代への結婚に関する講習会	7. 交際術やマナーなどを学ぶ講座	8. 結婚を推奨するようなPR	9. 町が取り組む必要はない	10. その他	無回答	
	全体	43.6	37.2	29.7	19.5	7.7	2.8	3.3	3.3	16.4	2.6	7.7	n
問1	性別												
	1. 男性	43.5	39.5	31.1	24.3	10.7	3.4	2.8	3.4	18.1	1.1	6.2	390
	2. 女性	44.1	35.1	28.9	15.6	5.2	2.4	3.8	3.3	15.2	3.8	8.5	177
問2	年齢												
	1. 19歳以下	50.0	50.0	42.9	7.1	35.7	21.4	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	211
	2. 20歳～24歳	35.6	37.8	37.8	15.6	4.4	2.2	2.2	2.2	15.6	4.4	11.1	14
	3. 25歳～29歳	32.0	56.0	42.0	24.0	2.0	2.0	2.0	8.0	10.0	4.0	0.0	45
	4. 30歳～34歳	48.7	39.5	31.6	22.4	9.2	1.3	5.3	1.3	14.5	1.3	9.2	50
	5. 35歳～39歳	32.1	34.0	28.3	9.4	7.5	1.9	0.0	1.9	18.9	5.7	7.5	76
	6. 40歳～44歳	52.4	31.7	25.6	26.8	9.8	3.7	6.1	3.7	17.1	1.2	4.9	53
7. 45歳～49歳	48.6	27.1	17.1	17.1	4.3	1.4	2.9	2.9	22.9	1.4	14.3	82	
													70

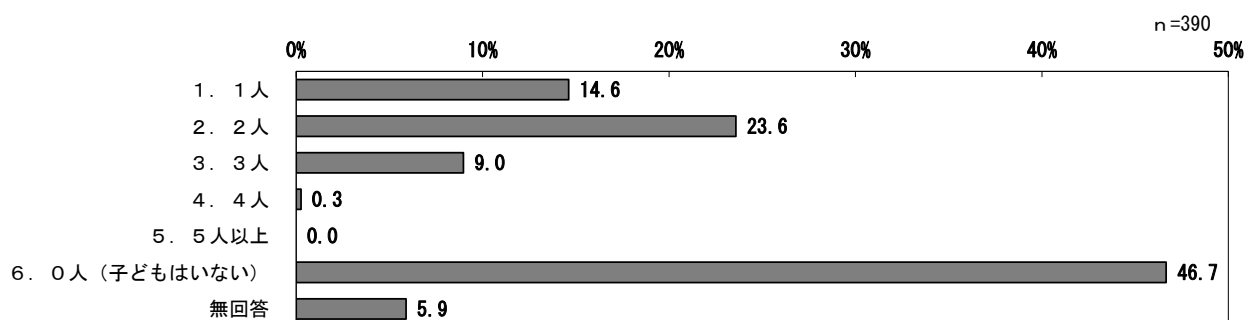
●主な「その他」記入: 必要はないと思うが何かやることで結婚する方は増えると思う／町内で多くの人の関わりの中で生活できるしくみ／自治会立ち上げ／都会的な仕組み／自治体による経済面の優遇は本質的なものではなく、税金を費して他地区に転居される可能性がある／など

(5) 出産・育児について

問 15. あなたには、現在、お子さんが何人おられますか。(1つに○)

「0人(子どもはいない)」が 46.7%で最も多く、次いで「2人」が 23.6%、「1人」が 14.6%、「3人」が 9.0%、「4人」が 0.3%となっています。

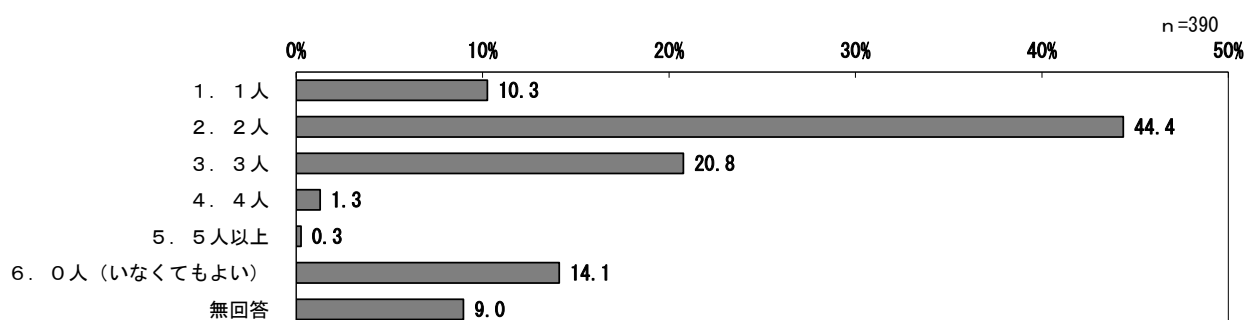
18歳～50歳未満の回答者の、現在の子どもの数は平均 0.95 人でした。



問 16. 将来的に何人のお子さんを持ちたいですか(現在いるお子さんの人数も含む)。(1つに○)

「2人」が 44.4%で最も多く、次いで「3人」が 20.8%、「0人(いなくてもよい)」が 14.1%、「1人」が 10.3%、「4人」が 1.3%、「5人以上」が 0.3%となっています。

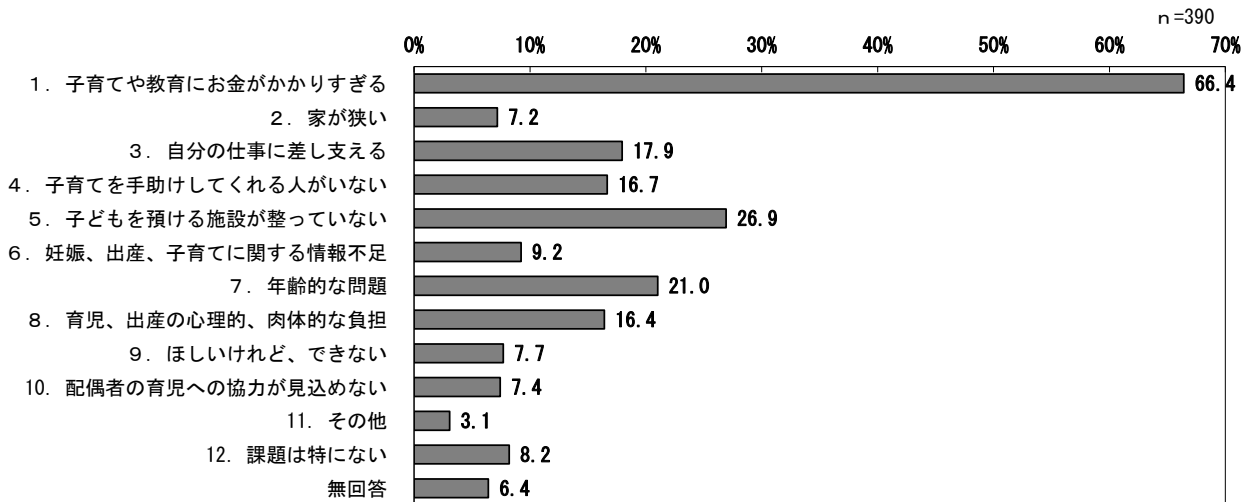
18歳～50歳未満の回答者の、将来持ちたい子どもの数は平均 1.84 人でした。



問 17. 理想的な子どもの数を実現するために、課題となること(なりそうなこと)は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が 66.4%で最も多く、次いで「子どもを預ける施設が整っていない」が 26.9%、「年齢的な問題」が 21.0%、「自分の仕事に差し支える」が 17.9%、「子育てを手助けしてくれる人がいない」が 16.7%、「育児、出産の心理的、肉体的な負担」が 16.4%となっています。



「子育てや教育にお金がかかりすぎる」「家が狭い」は 20 代後半で率が高く、「子どもを預ける施設が整っていない」は 30 代前半で高くなっています。「自分の仕事に差し支える」「育児、出産の心理的、肉体的な負担」「妊娠、出産、子育てに関する情報不足」は 19 歳以下で高くなっています。「年齢的な問題」は 40 代で高くなっています。

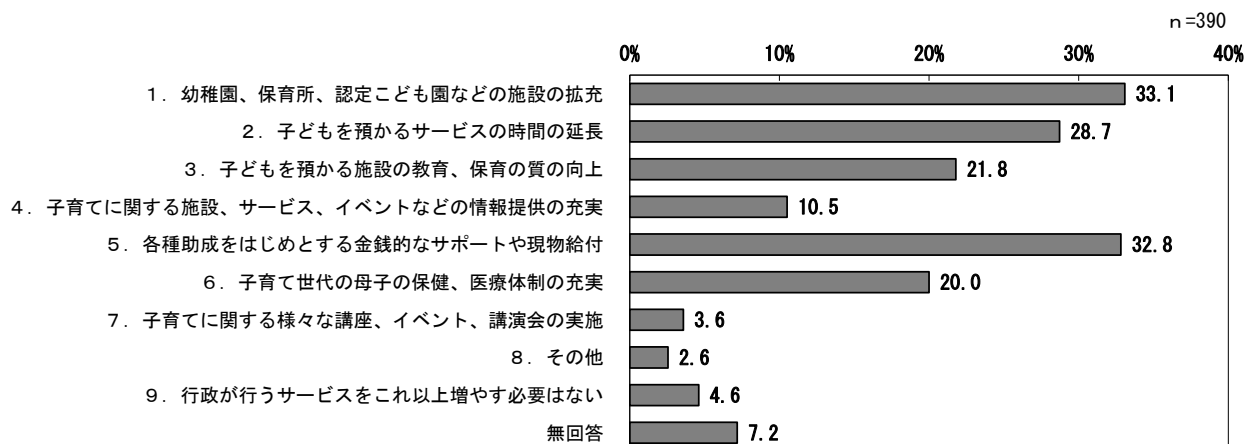
		問17 理想的な子どもの数に課題になる事														
		1. 子育てや教育にお金がかかりすぎる	2. 家が狭い	3. 自分の仕事に差し支える	4. 子育てを手助けしてくれる人がいない	5. 子どもを預ける施設が整っていない	6. 妊娠、出産、子育てに関する情報不足	7. 年齢的な問題	8. 育児、出産の心理的、肉体的な負担	9. ほしいけれど、できない	10. 配偶者の育児への協力が見込めない	11. その他	12. 課題は特にない	無回答	n	
問1	性別	全体	66.4	7.2	17.9	16.7	26.9	9.2	21.0	16.4	7.7	7.4	3.1	8.2	6.4	390
		1. 男性	66.7	9.0	12.4	15.3	20.3	10.7	18.1	13.0	6.2	4.5	2.8	9.6	7.3	177
問2	年齢	2. 女性	66.8	5.7	22.7	18.0	32.2	8.1	23.7	19.0	8.5	10.0	3.3	7.1	5.7	211
		1. 19歳以下	71.4	7.1	35.7	21.4	21.4	28.6	0.0	35.7	21.4	0.0	0.0	7.1	0.0	14
		2. 20歳~24歳	60.0	2.2	17.8	11.1	11.1	13.3	2.2	17.8	2.2	6.7	0.0	15.6	13.3	45
		3. 25歳~29歳	86.0	12.0	18.0	8.0	28.0	10.0	6.0	22.0	6.0	0.0	4.0	2.0	4.0	50
		4. 30歳~34歳	71.1	9.2	17.1	11.8	39.5	9.2	17.1	14.5	9.2	9.2	6.6	6.6	9.2	76
		5. 35歳~39歳	56.6	7.5	13.2	13.2	24.5	1.9	22.6	11.3	7.5	3.8	3.8	9.4	3.8	53
		6. 40歳~44歳	62.2	4.9	24.4	25.6	28.0	7.3	36.6	19.5	13.4	9.8	3.7	6.1	3.7	82
7. 45歳~49歳	62.9	7.1	11.4	22.9	24.3	10.0	32.9	10.0	1.4	12.9	0.0	11.4	7.1	70		

●主な「その他」記入: 不妊治療にかかるお金／子どもが病気になったら保育園で預かってもらえないので病後保育／など

問 18. 育児に関するサービスとして、町が最も力を入れるべきだと思うのはどれですか。(1つに○)

「幼稚園、保育所、認定こども園などの施設の拡充」が 33.1%で最も多く、次いで「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が 32.8%、「子どもを預かるサービスの時間の延長」が 28.7%、「子どもを預かる施設の教育、保育の質の向上」が 21.8%、「子育て世代の母子の保健、医療体制の充実」が 20.0%となっています。

※複数回答多数のため、マルチアンサーとして集計



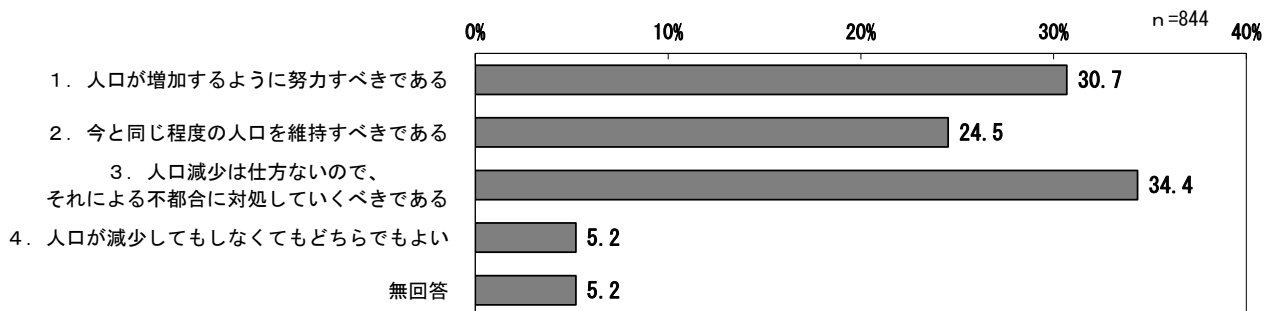
●主な「その他」記入: 孤立しない環境／子育て支援の仕事についてはいるが自分の子どもが病気になった時に休みやすい環境を／共働きをへらす努力／福祉医療、子供が病気になっても病院に安心して行けるのでありがたい／園と保育士さんの拡大／など

【すべての方にうかがいます】

(6) 人口減少社会と、まちづくりについて

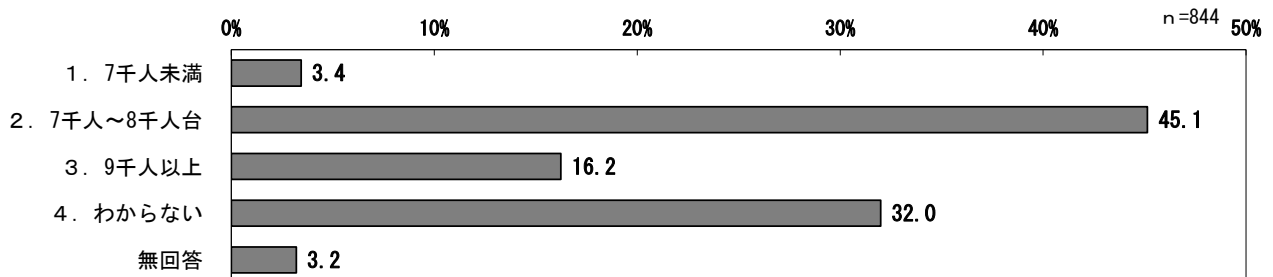
問 19. 人口減少問題の克服が国の課題とされています。人口減少について、あなたの考えはどれに近いですか。(1つに○)

「人口減少は仕方ないので、それによる不都合に対処していくべきである」が 34.4%で最も多く、次いで「人口が増加するように努力すべきである」が 30.7%、「今と同じ程度の人口を維持すべきである」が 24.5%、「人口が減少してもしなくてもどちらでもよい」が 5.2%となっています。



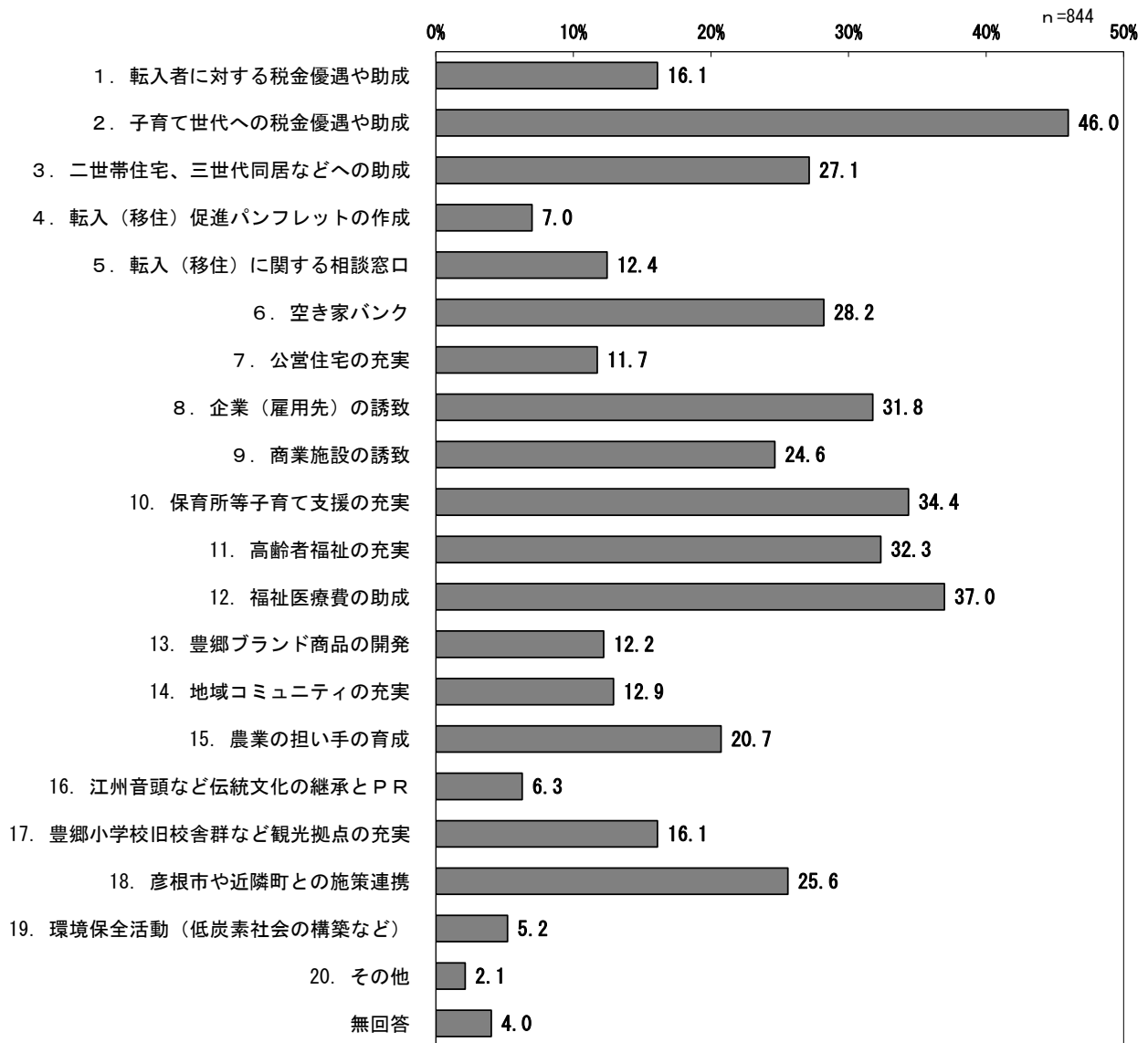
問 20. 2015年5月1日現在、豊郷町の人口は7,376人です。町の人口は、1980年からほぼ横ばいで推移してきました。あなたは、どのくらいが本町の人口規模として望ましいと思いますか。(1つに○)

「7千人～8千人台」が 45.1%で最も多く、次いで「わからない」が 32.0%、「9千人以上」が 16.2%、「7千人未満」が 3.4%となっています。



問 21. 豊郷町が人口減少問題に今後対応していく場合、重要だと思う事業やサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「子育て世代への税金優遇や助成」が 46.0%で最も多く、次いで「福祉医療費の助成」が 37.0%、「保育所等子育て支援の充実」が 34.4%、「高齢者福祉の充実」が 32.3%、「企業（雇用先）の誘致」が 31.8%となっています。



●主な「その他」記入: 婚活／琵琶湖と何らかのコラボ／バス、電車など交通面の充実／身の丈に合ったサービス／WEBでの情報提供／高齢者に対する教育／農業の担い手の支援／マナーの学習や挨拶がしっかりできるなど、他の学校に無いような学習を組み込み教育の充実をアピール／など

問 22. 豊郷町が活性化し、(将来起こり得る)人口減少に歯止めをかけるためには、町としてどのような施策を重点的に進めるべきだと思いますか。あなたが普段感じていることを自由にお書きください。

※抜粋

- 保育園への入園がしやすい環境、不妊治療助成費 UP。【女性・30 歳～34 歳】
- 「けいおん」に関するアンケート等を行い、町民が町の取組をどうとらえているのか把握すべき。【男性・35 歳～39 歳】
- 特殊野菜(栄養価の高い)を農家の人に作ってもらい、ホテル、レストラン、施設に買ってもらう。【女性・60 歳～64 歳】
- 高齢者が多いので多少の減少はやむを得ないと思うが、若い世代に住み続けてもらう(若しくは他市町村から豊郷に転居してもらう)には若い世代にとって魅力のある施設(お店:全国チェーン店や今どきのカフェ、レストラン etc)や何か 1 つでも他より飛び抜けて充実した制度が(教育、医療)あれば、豊郷に住む検討材料になると思う。【女性・25 歳～29 歳】
- 子どもを産む為のサポート(不妊治療の負担がないようにする。出産できる病院がある)を充実して欲しい。育児に対するサポートは現在豊郷町は充実していると思うので、産みたいという人に対してのサポートを希望します。【女性・40 歳～44 歳】
- 私たちの街の良さを町民自身をもっと認識すべきでは…。ちなみに私は最近になって伊藤忠さんの屋敷へ行ってその違業に気づきました。もっと他にも、町の文化的な財産が多くあると思います。素晴らしいと感じることをもっと共有してもよいのでは…【女性・60 歳～64 歳】
- 意外と伊藤忠などの事は知られていないので残念。旧校舍群のマニアの話題が先行しているので。【女性・45 歳～49 歳】
- 私達の字にも外国の人らしい人が増えていますが日本語を話されるかわからず、交流するためにはいろいろ町も考えて下さるといいと思います。【女性・65 歳～69 歳】
- 若者が就業できる環境。濃厚すぎる近所づきあいは、負担に感じる事も。【男性・50 歳～54 歳】
- 行政職員の積極的な地域コミュニティ及びイベントへの参加参画。住民の目線に立った行政サービス。【男性・45 歳～49 歳】
- 高齢者でも元気だったら、仕事のしたい人には町より仕事を紹介すべき。【女性・60 歳～64 歳】
- 豊郷町が子育て支援で、他の市町村より特化している点(例えば、医療費 18 歳まで無料)をアピールすべき。知らない人が多いので。【女性・35 歳～39 歳】
- 子どもの医療費の無料化や、他の市町にはないことをやって下さって本当に助かっています。よく周りから言われるのが「子育ては充実しているが、JR が遠い、快速がとまらない」という点。【女性・25 歳～29 歳】
- 町の収益事業開拓(集客)。【男性・55 歳～59 歳】
- 自然が多く子育てするにはいい場所だが、マナーがない(特に年配の方)。犬のさんぽのフン始末を全くしない人が多すぎる、それを小さな子どもが見て成長していくのは、いかがなものか?【女性・30 歳～34 歳】
- 子育て支援充実(3 人目、4 人目への助成や学費等の免除)。次世代の子供たちが住みやすいよう、字や区

の行事を最小限にしていく。(区の役員や行事への協力が嫌で字や町から出ていく人が多い)【男性・40 歳～44 歳】

- 人口減少(逆の場合もそうですが)に無理に歯止めをかけるのではなく、減少したらそれでそれに合わせた施策を講じるべきと考えます。【男性・35 歳～39 歳】
- 独身者に出会いの場を提供する。【男性・30 歳～34 歳】
- 居住環境の充実、小中学校の教育環境を整える。(ソフト面での)【男性・50 歳～54 歳】
- 旧集落に若い人が住みづらく、離れていくので高齢者が増える。封建的な近所付き合いが、若い人になじまれない【女性・50 歳～54 歳】
- 町内における各企業個人経営者の悩み相談・手作り作品の商品化、情報発信の仕方等、豊郷の活性化に向けた施策(個人が単独では実施できない案件)に取り組む部署の充実をはかる。【男性・70 歳以上】
- 若年層の取り込みと複数人の子どもを育てられるだけの金銭的・福祉的な援助に対して、重点を置く必要があると思う。【男性・20 歳～24 歳】
- 転入者の誘致に向けて、魅力ある町としてのアピールが足りない。公園の整備など、子育て世代が生活しやすい環境を。【男性・40 歳～44 歳】
- 空き家の改修等を行い新築より安い価格で売り出し、住む人を増やしていく。今後は 1 つの家族が代々住むスタイルではなく、一時的にここに住み、次の世代に移っていくイメージ。【男性・35 歳～39 歳】
- 彦根市、犬上、愛荘等と連携して、企業の誘致をし、雇用を確保することが大切だと思います。【女性・65 歳～69 歳】
- 農地が住宅になることがさみしく思いますが、若い世代が農業に関われない(入りづらい)ことも確かです。緑の多い豊郷がみられるようになればいいと思います。【女性・30 歳～34 歳】
- 豊郷ミュージアム構想など観光客の誘致と、休けい場所、飲食の充実。【女性・60 歳～64 歳】
- 車がないと出かけるのが不便。特に高校生くらいの年齢層で JR へのアクセスが辛い。近江鉄道はあるが、運賃が割高でなじみにくい。【男性・25 歳～29 歳】
- 他地域からの若年層の転入促進及び就労保障。例、農業の引き受け手を町の補助金をつけて導入【男性・70 歳以上】
- 町が活性化するには、もっと地域おこしに力を入れる活動が必要なのではないか? 昔からの風習のままで、もっと時代に沿った町づくりをお願いしたい。特に若者にとって、住みやすい町であることを希望します。【女性・55 歳～59 歳】
- 空地、空屋対策、活用方法の検討の取組みを。農業問題で少集落単位ではなく規模拡大策で取り組むべき。【男性・70 歳以上】
- スポーツ施設の充実(少年野球・サッカー教室)。児童公園:遊技施設を設ける。【男性・60 歳～64 歳】
- 豊小でイベントがあるが、入場料のような 1 人 100 円でも徴収して他に色々と役立つ事を考えれば良い。他府県から多くの人があるので何か楽しめる施設が出来ればいい。就労にもつながる【女性・55 歳～59 歳】
- 結婚できない(しない)人が増えているのを、減らすこと。町としても、結婚を支援する政策を考えるべきだと思います

います。【男性・55 歳～59 歳】

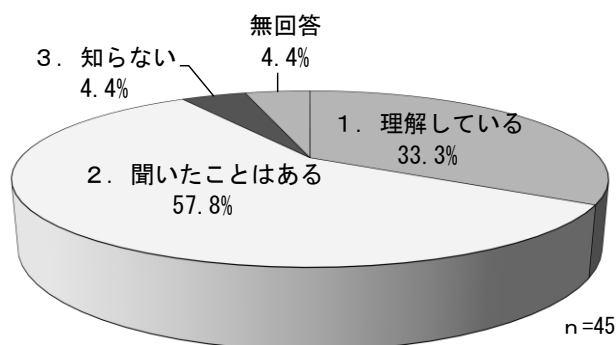
- 非正規及び正社員でも賃金が安く結婚をあきらめている人が多いと思う。20代～40代の人々の町県民税などの軽減を考えて、少しでも結婚を考える様になるような相談窓口を設ける。【女性・65 歳～69 歳】
- これから空き家が増えていくと思われます。マンション公営住宅も必要と感じますが、空き家や古い家のリフォームの助成金も出したらいかがですか。【男性・65 歳～69 歳】
- 何でもしてもらっていいけど、豊郷小学校を使っただけのイベントを規制してほしい。豊小＝けいおんというイメージ、恥ずかしい。【女性・25 歳～29 歳】
- 幼保一体化にするべきだと思う。空き家を利用しやすいようにする(低額で)【女性・55 歳～59 歳】
- ヴォーリス小学校や小学校のイベントに合わせ祭りを増やし、その際公営住宅のあっせんや就職のあっせんをする。【男性・50 歳～54 歳】
- 本町は自然災害の少ない安心安全な町です。特に PR して転入を求める必要もありませんが、少ない面積でも有効に活用して食料の確保や自給自足の出来る静かな町であって欲しい。【男性・70 歳以上】
- 保育所や学童の開始および終了時間が現状のままでは通勤時間に 1 時間程かかる場合、フルタイムの復帰には周りの協力がなければ難しい。保育所や学童の施設を利用して有料でもクラブ活動は実施してもらいたい。【女性・30 歳～34 歳】
- 他の市町に比べて、福祉医療面では充実(優遇)されていて買物も近くにスーパーが有り便利(車に乗れない方は不便を感じておられると思う)。住宅(宅地)企業の誘致が必要。【女性・65 歳～69 歳】
- 豊郷町の一部では、以前より人口が増えているのではないのでしょうか？ その為に少しずつ問題が増えていると感じます。他の市町村や他県からの転入、外国の方などもおり、地域、区での取り組みも正直しんどく感じます。【男性・35 歳～39 歳】
- 京都市は子どもからお年寄りまでが行政と協力したり大学と協力したりして町の課題に取り組んでいる。お年寄りの多い豊郷町でもみんなが集える会やイベントを充実させ、住民主体となっているような活動をしていくべきだと思う。“けいおん”は著者の許可がとれないのですか？ 若者たちはみんな知っているのもっと PR できたら本当の聖地になりますよ。【女性・19 歳以下】
- 昨年転入してきたのですが、環境も良く、住みやすいと感じています。私自身空き家を紹介してもらい移住してきたのですが、若い子育て世帯が使われていない家を(紹介や助成によって)利用できたりするのいいのと思う。庭付きの立派な家が空いているのはもったいない。【女性・40 歳～44 歳】
- 情報提供(WEB サイトが古く、スマートフォン対応できていない、重要な情報がない)。町サービスのポイント評価(WEB や窓口で)。信頼できる外部の意見は参考にすること。【男性・40 歳～44 歳】

3 事業所アンケート 調査結果

(1) 「地方創生」について

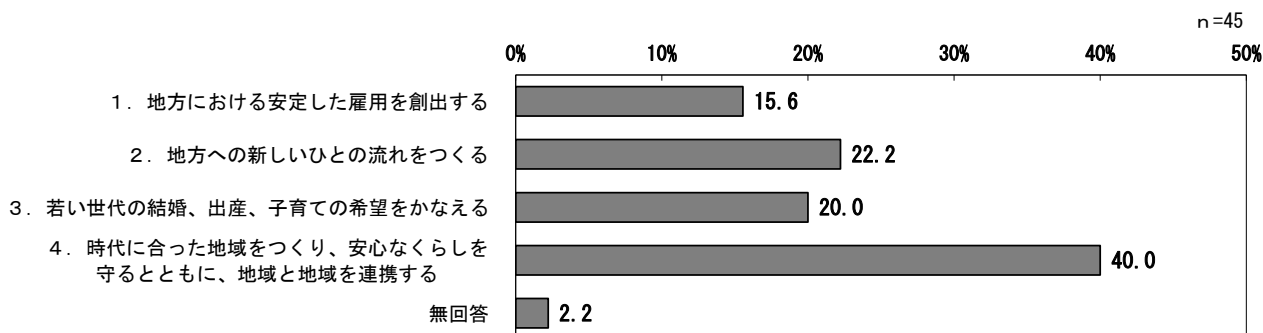
問1. 「地方創生」とは何か、ご存じですか。(1つに〇)

「聞いたことはある」が 57.8%で最も多く、次いで「理解している」が 33.3%、「知らない」が 4.4%となっています。



問 2. 国は、地方創生を推進する上で、4つの目標を立てています。あなたが最も期待する目標は何ですか？ (1つに〇)

「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」が 40.0%で最も多く、次いで「地方への新しいひとの流れをつくる」が 22.2%、「若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる」が 20.0%、「地方における安定した雇用を創出する」が 15.6%となっています。



問3.「地方創生」について、具体的に国や町が進めるべきだと思う施策があればご記入ください。

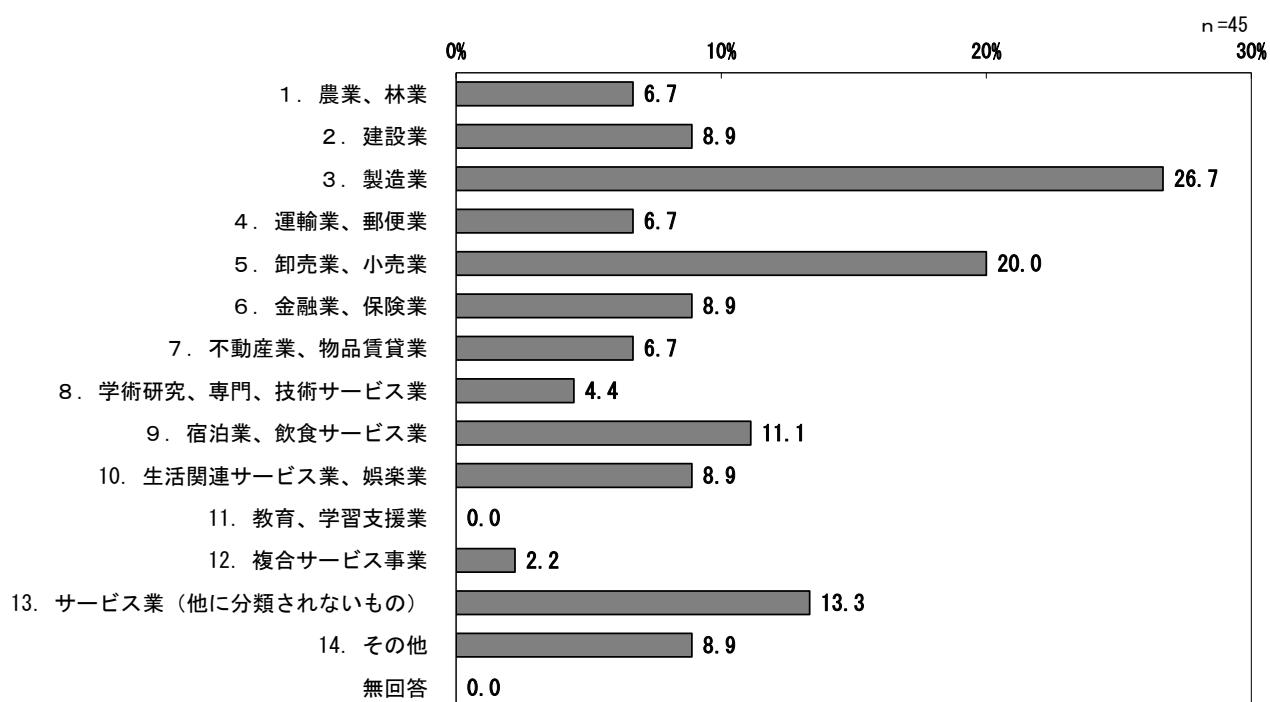
※抜粋

- 地元企業が活性する政策づくり。特に中小企業の海外への支援。
- 保育園の定員増をお願いします。育休をとった職員が、なかなか復帰出来ないのは、保育園に入れないため、と聞いています。
- 企業への土地、新規立地をすすめる。
- 町民全員が危機感を持って生き残りを懸けた攻めの戦略を策定し、推進する事が重要であり、国や町の施策ではなく、地域から湧きでる力(自立)を促がすような対応が大切かと。
- 若い世代の結婚の場所づくり、事業者の後継者問題に子作りが必要。
- やはり道路整備が必要。町内でセンターラインの引ける道路は？
- 道路整備。歩道の整備
- 道路、側道の整備
- 都会と地方と言われる地域の格差は今だに大きなものがあると思います。しかし地方が何を求め、地方の役割を明確に打ち出すことで互いが見え、それが施策になっていくものだと考えます。
- 土地利用の規制緩和(工場、事業所、宅地を増やす)。中仙道に平行したバイパス造成等道路整備。歴史的な地域資源の活用。空家利用、移住促進。
- 雇用をふやすの名のもとに、採用が年々へってきている。今も又大企業が有利なように変えられて行き、格差が大きくなろうとしている。なにか矛盾を感じている。
- 産業・企業の一極集中(首都圏)の解消と地方分散化。
- 人が集まる魅力ある地にすること。会社＝従業員。観光地＝旅行者、大型店舗＝消費者。税の優遇。

(2) 事業所について

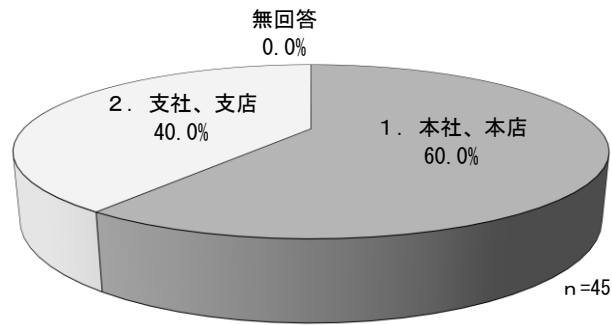
問 4. 貴事業所の業種は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

今回の回答では、「製造業」が 26.7%で最も多く、次いで「卸売業、小売業」が 20.0%、「サービス業(他に分類されないもの)」が 13.3%、「宿泊業、飲食サービス業」が 11.1%、「建設業」及び「金融業、保険業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「その他」がそれぞれ 8.9%となっています。



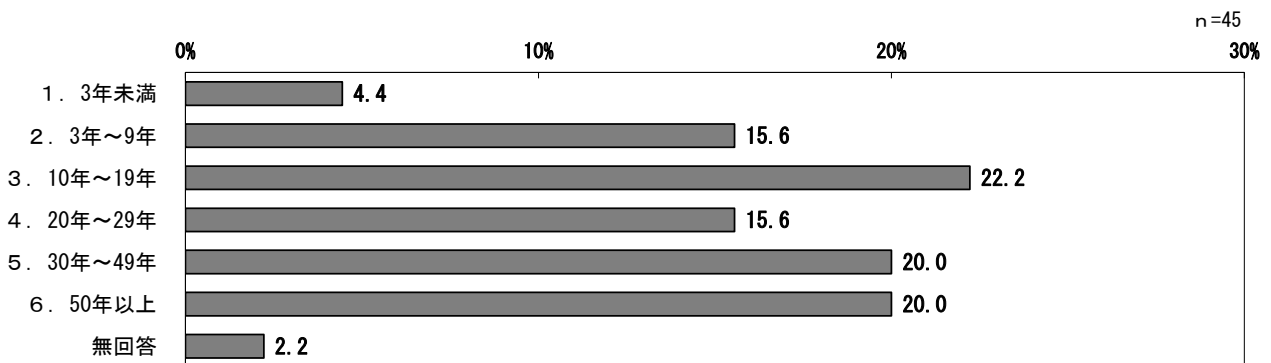
問 5. 貴事業所はどちらにあたりますか。(1つに○)

「本社、本店」が 60.0%、「支社、支店」が 40.0%となっています。



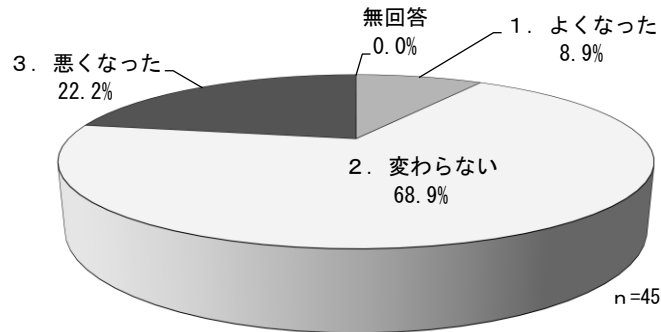
問 6. 貴事業所の豊郷町での営業年数（通算）はどれにあてはまりますか。(1つに○)

「10年～19年」が 22.2%で最も多く、次いで「30年～49年」、「50年以上」が 20.0%、「3年～9年」及び「20年～29年」が 15.6%となっています。



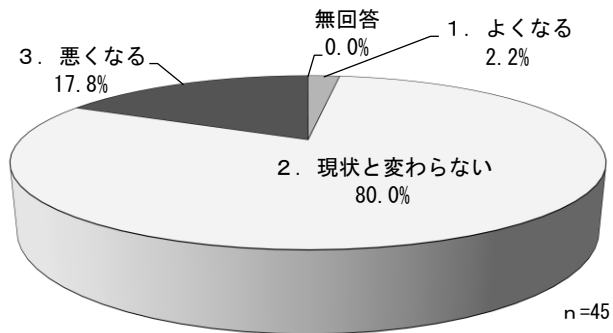
問 7. 実感として、1年前と比べて景況感をどのように感じていますか。(1つに○)

「変わらない」が68.9%で最も多く、次いで「悪くなった」が22.2%、「よくなった」が8.9%となっています。



問 8. 1年後、景況感がどのようにになると予測していますか。(1つに○)

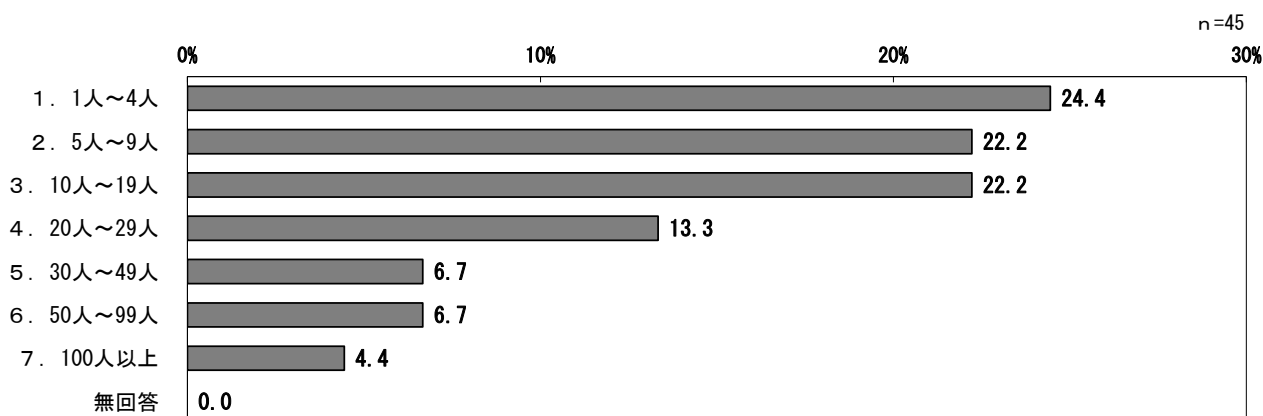
「現状と変わらない」が80.0%で最も多く、次いで「悪くなる」が17.8%、「よくなる」が2.2%となっています。



(3) 事業所の従業員について

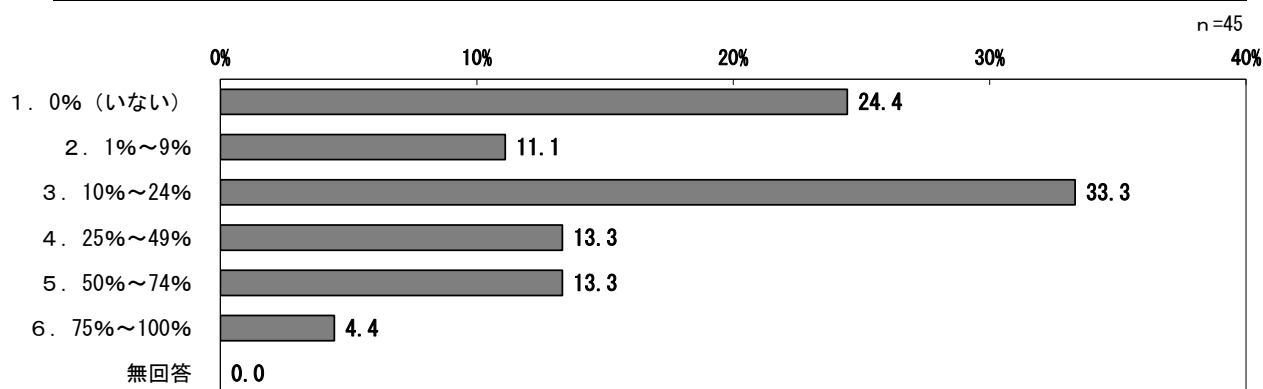
問 9. 貴事業所の従業員数(パート・アルバイト等を含む)はどの規模ですか。(1つに○)

「1人～4人」が24.4%で最も多く、次いで「5人～9人」、「10人～19人」が22.2%、「20人～29人」が13.3%、「30人～49人」及び「50人～99人」が6.7%となっています。



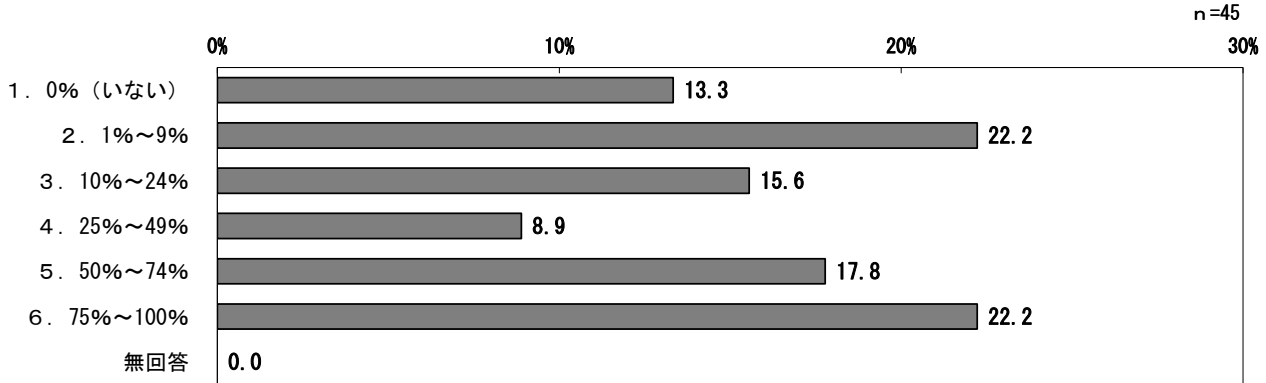
問 10. 貴事業所の従業員で、豊郷町内在住の従業員(パート・アルバイト等を含む)が占める割合はどのくらいですか。(1つに○)

「10%～24%」が33.3%で最も多く、次いで「0%(いない)」が24.4%、「25%～49%」及び「50%～74%」が13.3%、「1%～9%」が11.1%となっています。



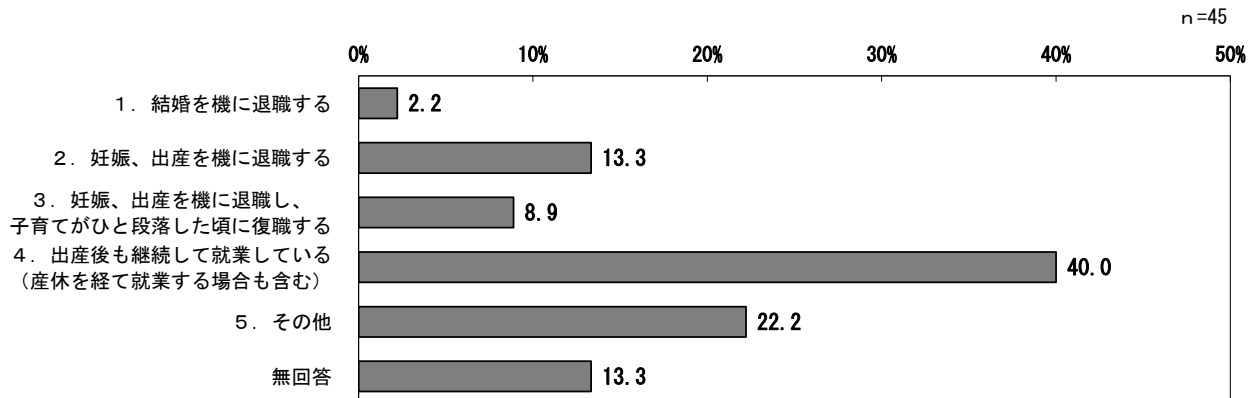
問 11. 貴事業所の従業員で、女性の従業員（パート・アルバイト等を含む）が占める割合はどのくらいですか。（1つに○）

「1%～9%」及び「75%～100%」が 22.2%、「50%～74%」が 17.8%、「10%～24%」が 15.6%、「0%（いない）」が 13.3%となっています。



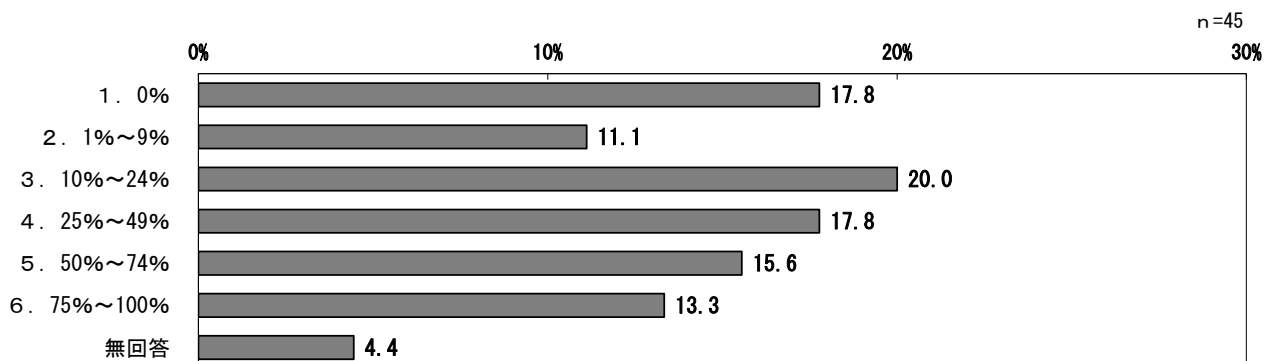
問 12. 貴事業所の女性の従業員の働き方では、どのようなパターンが多いですか。（1つに○）

「出産後も継続して就業している（産休を経て就業する場合も含む）」が 40.0%で最も多く、次いで「その他」が 22.2%、「妊娠、出産を機に退職する」が 13.3%、「妊娠、出産を機に退職し、子育てがひと段落した頃に復職する」が 8.9%、「結婚を機に退職する」が 2.2%となっています。



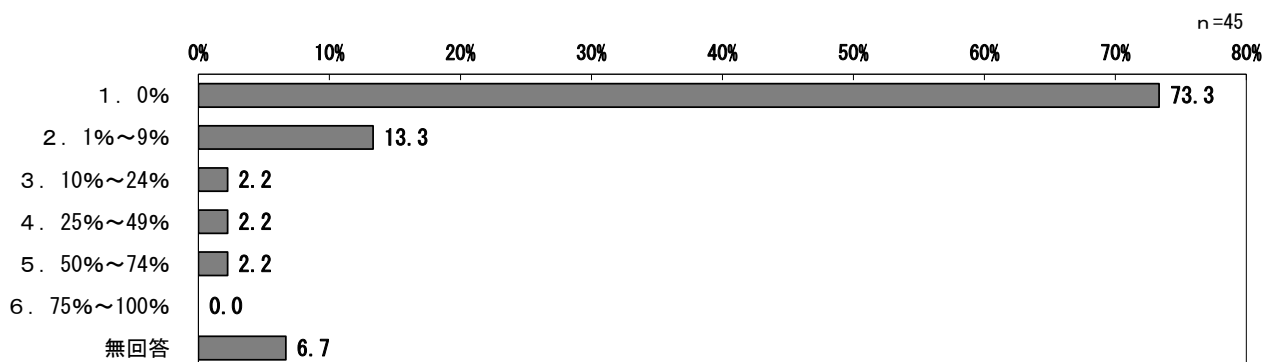
問 13. 貴事業所の有給休暇取得率は、おおよそどのくらいですか。(1つに○)

「10%～24%」が 20.0%で最も多く、次いで「0%」及び「25%～49%」が 17.8%、「50%～74%」が 15.6%、「75%～100%」が 13.3%となっています。



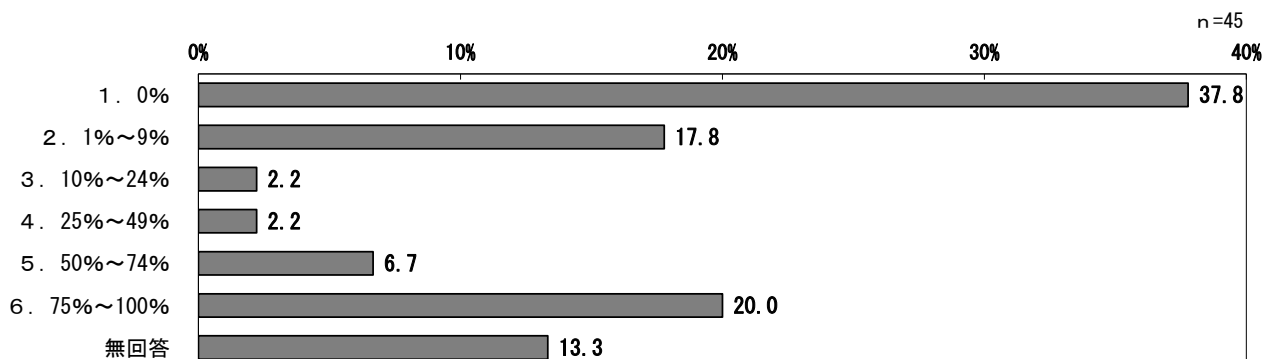
問 14. 貴事業所における男性の育児休業取得率は、おおよそどのくらいですか。(1つに○)

「0%」が 73.3%で最も多く、次いで「1%～9%」が 13.3%、「10%～24%」及び「25%～49%」、「50%～74%」がそれぞれ 2.2%となっています。



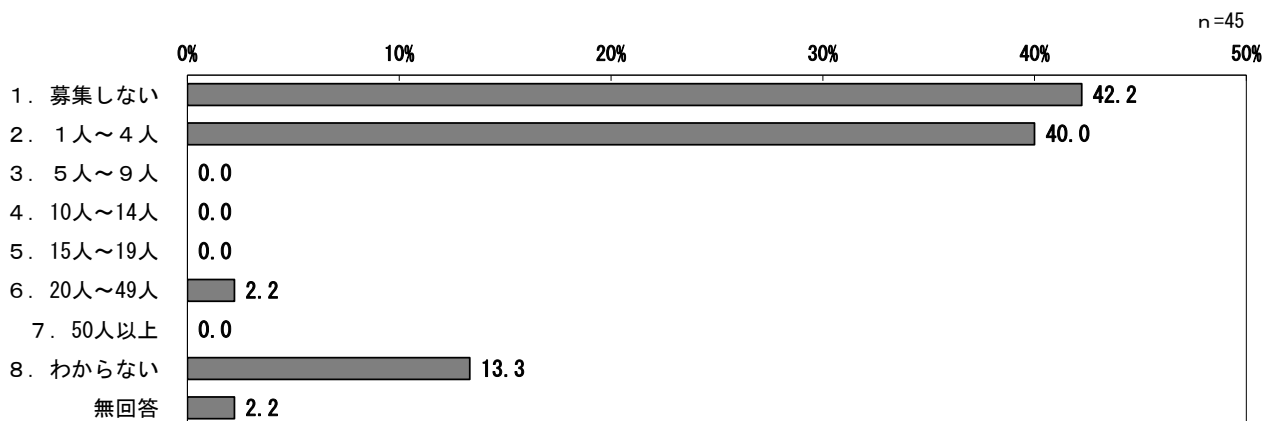
問 15. 貴事業所における女性の育児休業取得率は、おおよそどのくらいですか。(1つに○)

「0%」が 37.8%で最も多く、次いで「75%～100%」が 20.0%、「1%～9%」が 17.8%、「50%～74%」が 6.7%、「10%～24%」及び「25%～49%」が 2.2%となっています。



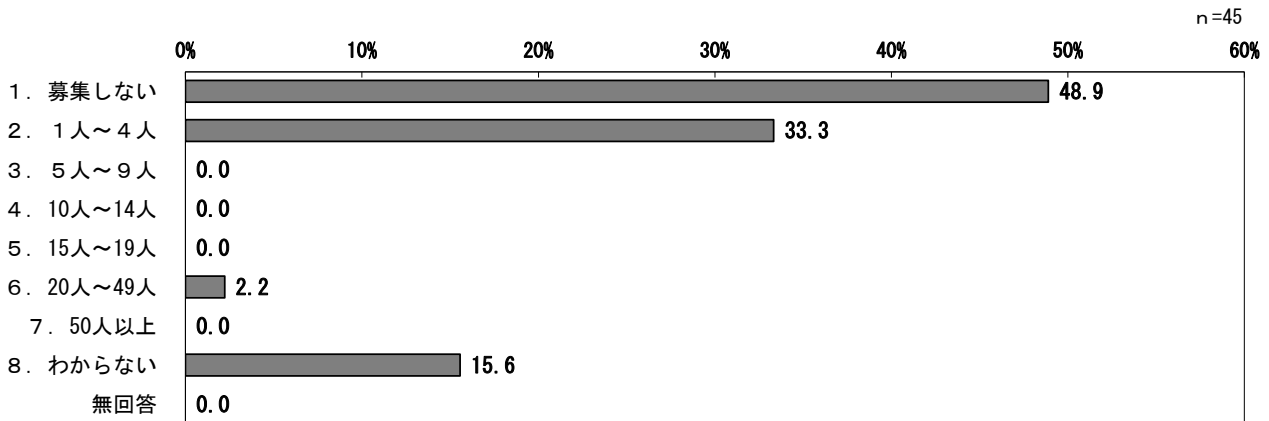
問 16. 貴事業所では1年間以内に正規雇用の従業員を募集する予定がありますか。(1つに○)

「募集しない」が 42.2%で最も多く、次いで「1人～4人」が 40.0%、「わからない」が 13.3%、「20人～49人」が 2.2%となっています。



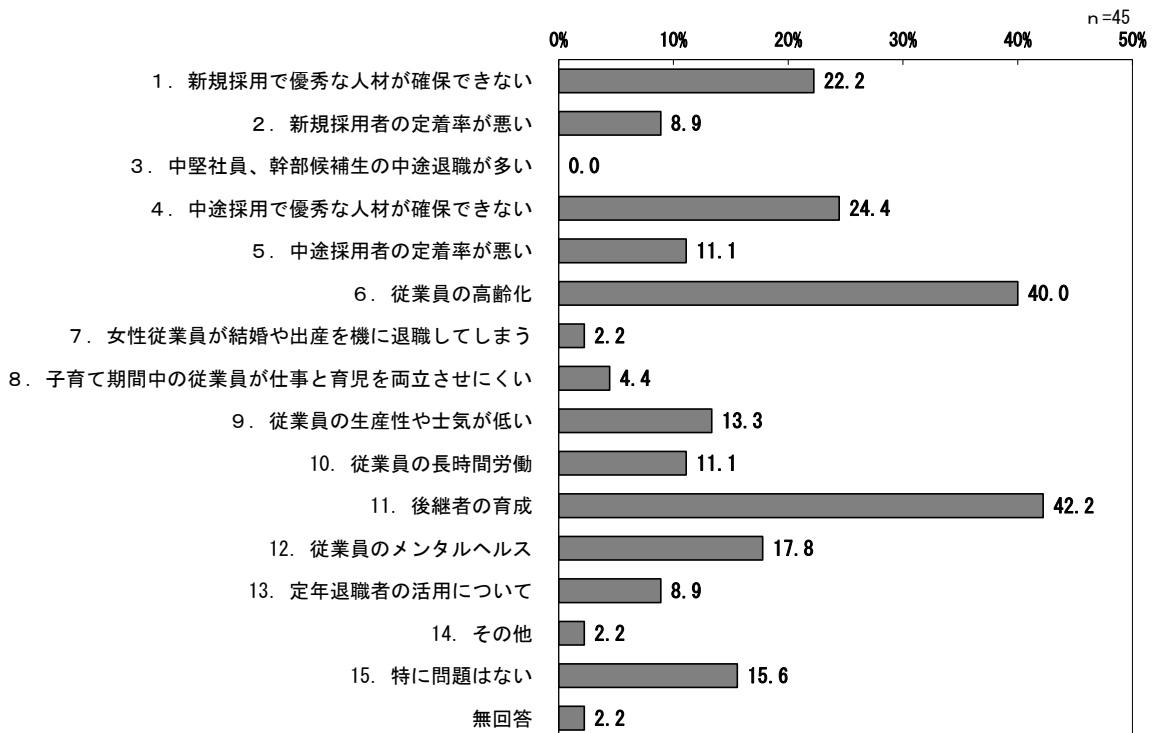
問 17. 貴事業所では1年間以内に非正規雇用の従業員を募集する予定はありますか。(1つに○)

「募集しない」が 48.9%で最も多く、次いで「1人～4人」が 33.3%、「わからない」が 15.6%、「20人～49人」が 2.2%となっています。



問 18. 貴事業所で日ごろお持ちの悩みはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

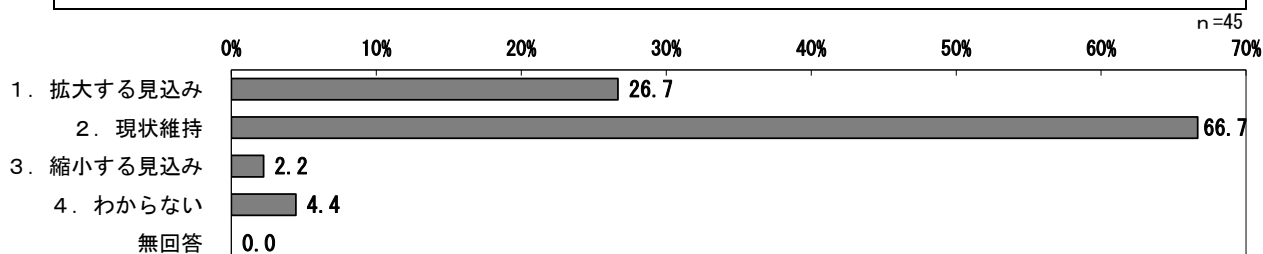
「後継者の育成」が 42.2%で最も多く、次いで「従業員の高齢化」が 40.0%、「中途採用で優秀な人材が確保できない」が 24.4%、「新規採用で優秀な人材が確保できない」が 22.2%、「従業員のメンタルヘルス」が 17.8%となっています。



(4) 事業所の今後の意向などについて

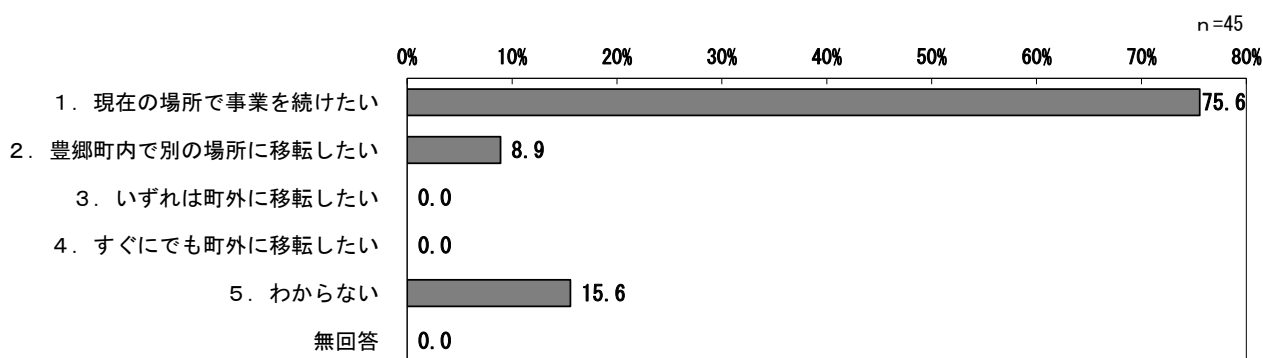
問 19. 今後の事業展開の見込みを教えてください。(1つに○)

「現状維持」が 66.7%で最も多く、次いで「拡大する見込み」が 26.7%、「わからない」が 4.4%、「縮小する見込み」が 2.2%となっています。



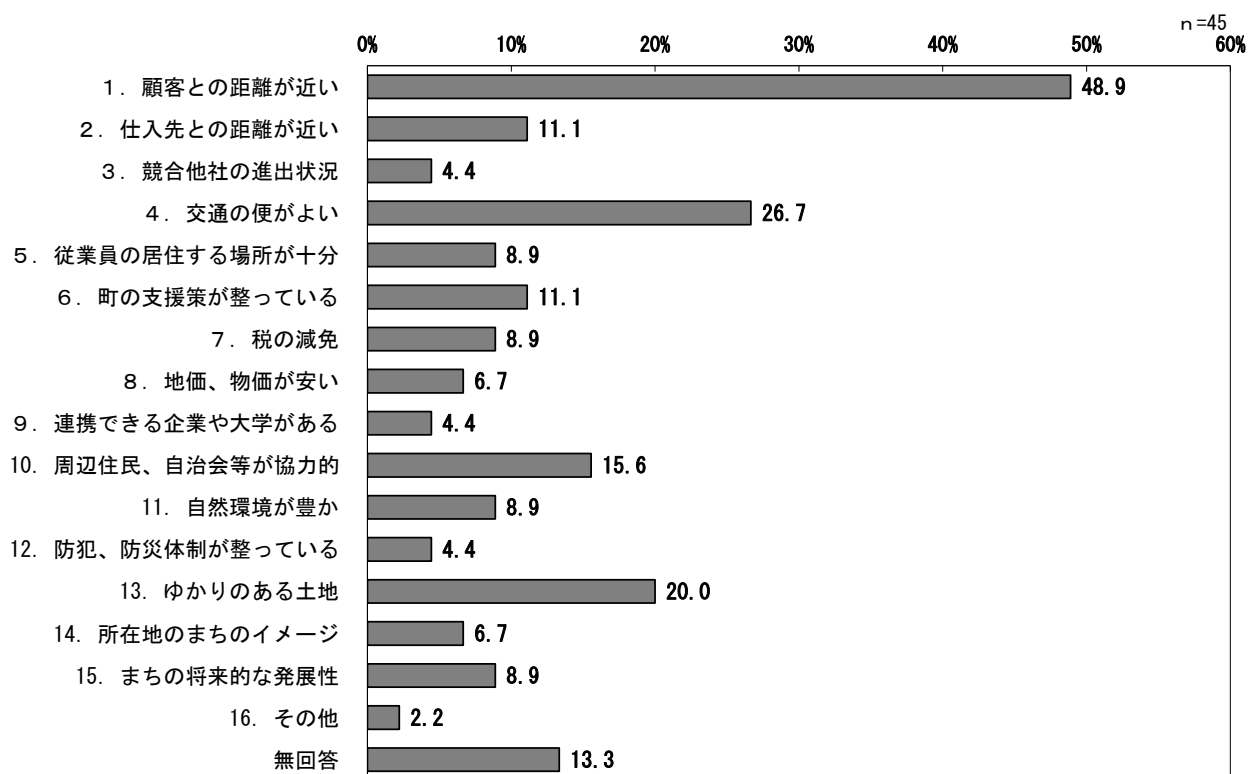
問 20. 今後も現在の場所(豊郷町内)で事業を続けたいと思われますか。(1つに○)

「現在の場所で事業を続けたい」が 75.6%で最も多く、次いで「わからない」が 15.6%、「豊郷町内で別の場所に移転したい」が 8.9%となっています。



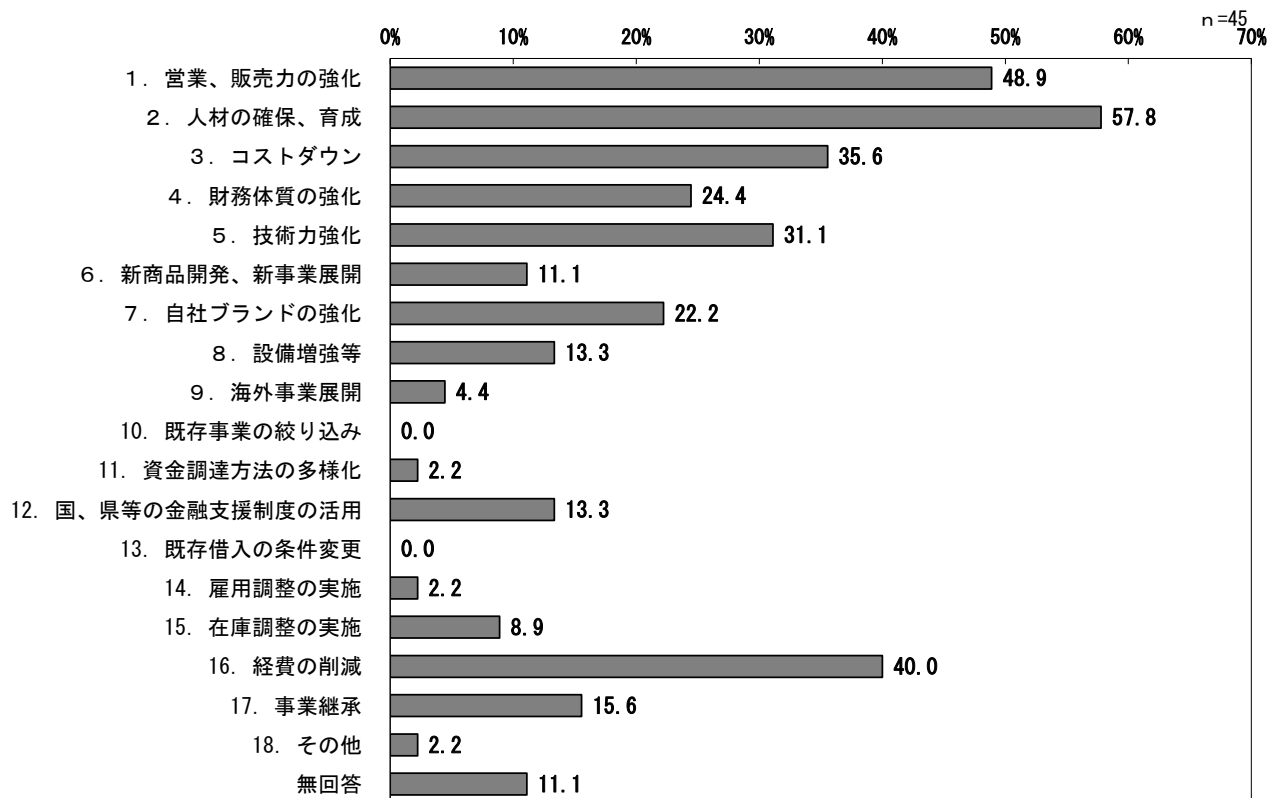
問 21. 事業所の立地において重視する点は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「顧客との距離が近い」が 48.9%で最も多く、次いで「交通の便がよい」が 26.7%、「ゆかりのある土地」が 20.0%、「周辺住民、自治会等が協力的」が 15.6%、「仕入先との距離が近い」及び「町の支援策が整っている」が 11.1%となっています。



問 22. 今後重要と思う経営上の課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

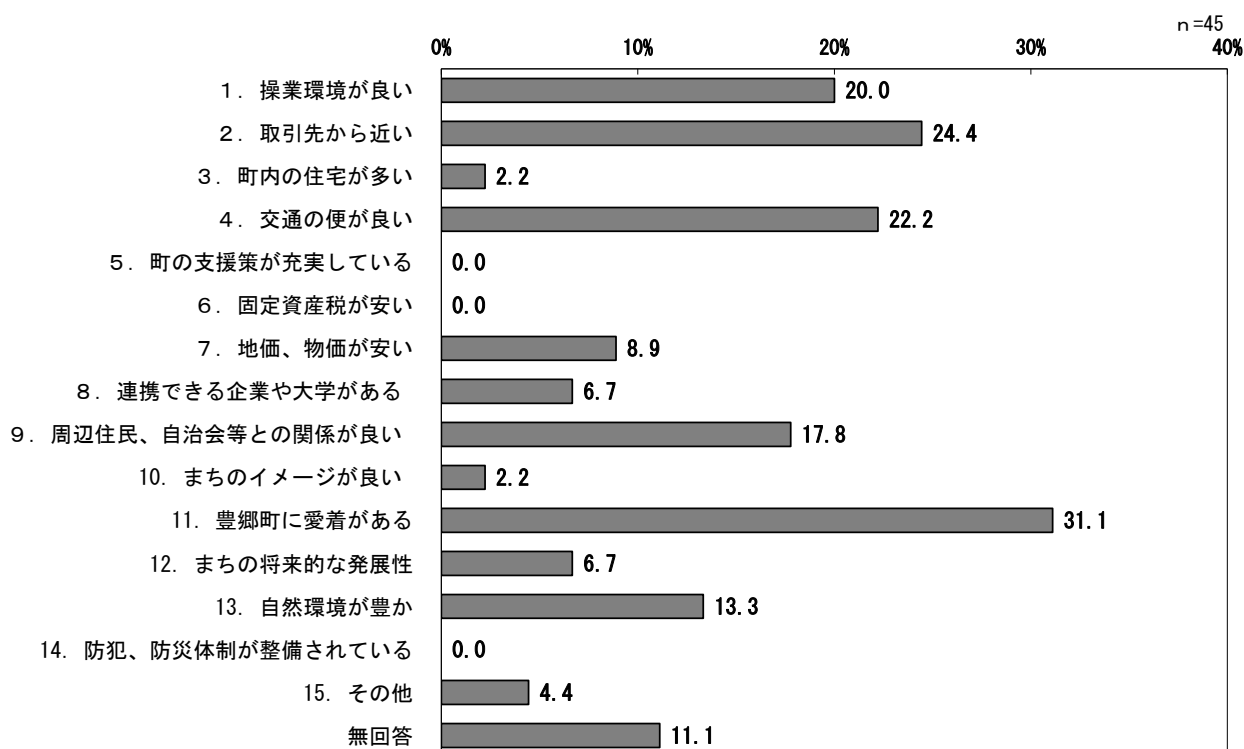
「人材の確保、育成」が57.8%で最も多く、次いで「営業、販売力の強化」が48.9%、「経費の削減」が40.0%、「コストダウン」が35.6%、「技術力強化」が31.1%となっています。



(5) 豊郷町について

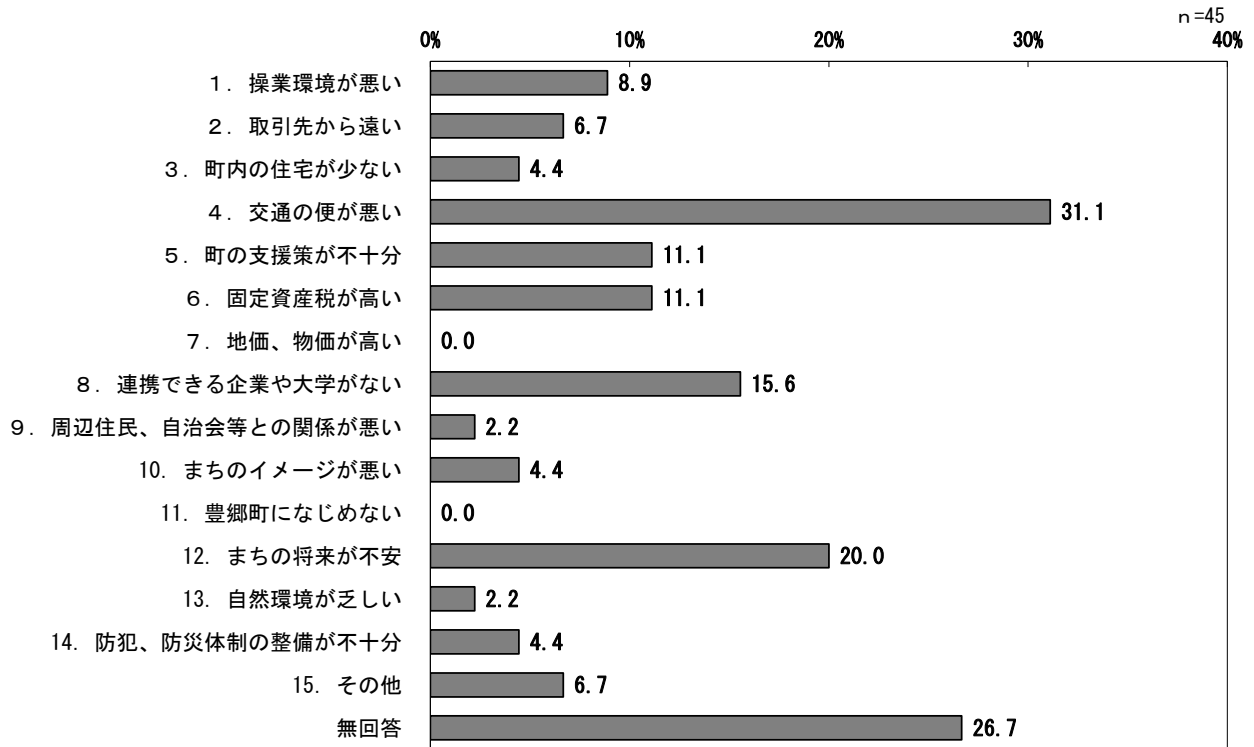
問 23. 事業を続ける中で、豊郷町がよいと思う点は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「豊郷町に愛着がある」が 31.1%で最も多く、次いで「取引先から近い」が 24.4%、「交通の便が良い」が 22.2%、「操業環境が良い」が 20.0%、「周辺住民、自治会等との関係が良い」が 17.8%となっています。



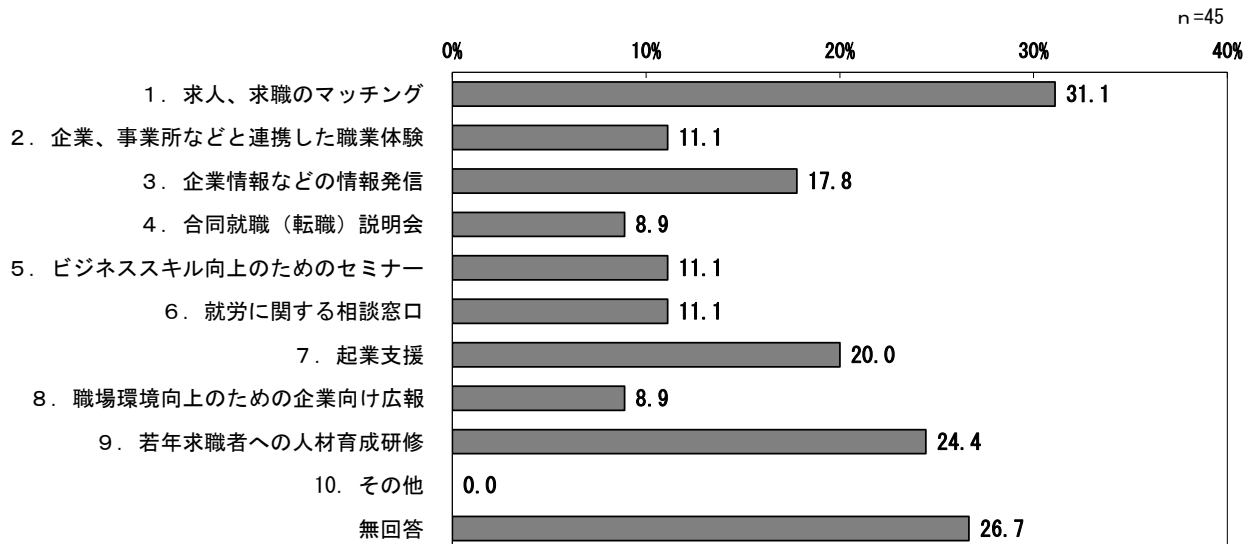
問 24. 事業を続ける中で、豊郷町がよくないと思う点は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「交通の便が悪い」が 31.1%で最も多く、次いで「まちの将来が不安」が 20.0%、「連携できる企業や大学がない」が 15.6%、「町の支援策が不十分」及び「固定資産税が高い」が 11.1%となっています。



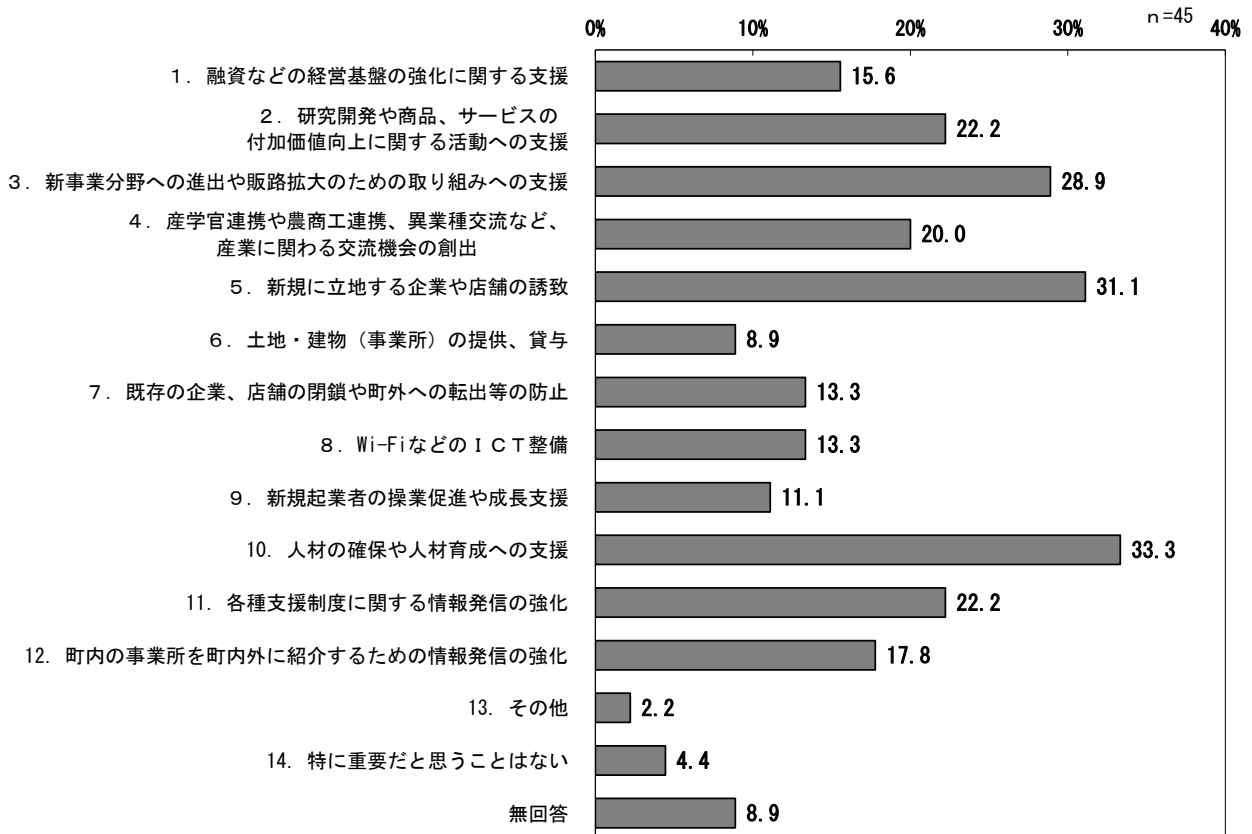
問 25. 町民の就労機会の向上等に向けて、町が重点的に取り組むべきと感じるものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

「求人、求職のマッチング」が 31.1%で最も多く、次いで「若年求職者への人材育成研修」が 24.4%、「起業支援」が 20.0%、「企業情報などの情報発信」が 17.8%、「企業、事業所などと連携した職業体験」及び「ビジネススキル向上のためのセミナー」及び「就労に関する相談窓口」がそれぞれ 11.1%となっています。



問 26. 豊郷町が行う産業振興に関する取り組みについて、貴事業所が重要だと思うものほど
 れですか。（あてはまるものすべてに○）

「人材の確保や人材育成への支援」が 33.3%で最も多く、次いで「新規に立地する企業や店舗の誘致」が 31.1%、「新事業分野への進出や販路拡大のための取り組みへの支援」が 28.9%、「研究開発や商品、サービスの付加価値向上に関する活動への支援」及び「各種支援制度に関する情報発信の強化」が 22.2%となっています。



問 27. 豊郷町が活性化し、(将来起こり得る)人口減少に歯止めをかけるためには、町としてどのような施策を重点的に進めるべきだと思いますか。あなたが普段感じていることを自由にお書きください。

※抜粋

- 町のイメージアップが必要。まだまだイメージが悪い。
- 楽しく安心して一家に 3 人の子育てが出来るような環境をつくって頂きたいと思います。
- 企業、店舗の積極的誘致。
- 町民全員が「町が消える」との危機感を持って地域再生への挑戦を始めなければならない。地域資源を活かし、町に産業をつくり、町に人(雇用の場)を増やし、「外貨」を獲得して町を活性化さす。地域住民全員が危機感を持って生き残りを懸けた攻めの戦略を策定し、推進しなければ将来はないと考えます。
- 大手企業誘致。出産、子育ての充実した政策。
- 町内で働ける企業の誘致により町外へ人が出ていかない。
- 現在小学校の LP ガスのバルク(ガスタンク=ガスボンベ)に常にガスが入っておりますがこのタンクに災害ユニットをつけることをお勧めいたします。約 1000m³ のガスで 1000 人分の炊飯が 2 日間可能といわれております。東北大震災に一番喜ばれたのが、自衛隊の活動、二番目に喜ばれたのが LP ガスの存在と言われております。また、広島での土石流では、非難先すべてが LP ガスの施設であったと言われます。是非、防災の点から今一度お考え直してはと、提案いたします。
- 当豊郷町は中核となる豊郷病院があり、その関連施設もありますので、これを利用される方々に、役場の信号からくれない公園、伊藤忠、そして高野瀬東の信号までを、遊歩道にして、商店街を作り、1000 円札一枚で、500 玉 1 枚で、昼食ができる街路地を含むサロン道路の整備が故郷創生事業の一つと考えては、いかがかと考えます。もちろん、中山道の東側か西側にバイパス道路の建設が必要だとは思いますが。
- 高野瀬在住の事業所の一つです。大雨が降ると仙堂川が今にも氾濫するかと心配している。八目地区の豊郷病院・中学校・役場をはじめとする公共施設の雨水が一気に流れるためやはり彦根市のうそ川に放流できる水路の建設が必要であると考えます。一方では庁舎建て替えの話も聞きますが、治水施策は 100 年の大系と言われますように町おこしの一つの起爆剤になればと、提案したいものです。
- 豊小等全国的に知名度が高いものを全面に押し出しキャラクター知名度を上げイメージアップ。人を集め地域活性につなげる。
- 若い人が働ける場所、やりがいのある職場、若い人が住みやすい町を中心に、他の地域とは大きく違いがわかる、思い切った施策を打ち出して頂きたい。もちろん長く住んで頂いている方へのフォローもお願いします。若い人は、都会にいかなくてもいい位の魅力ある町があれば、人口は増えていきます。
- 中仙道沿いに存在する歴史的観光資源の活用。中仙道は自動車の交通量多く歩くには危険、歩道を作るか、歩行者専用道路にすべき(美観地区のように)、その代りバイパス道造成。農振地の規制を外し、事業所、工場誘致、宅地造成。若年層の町政参加、町内行事参加促進。
- 新規に、立地する企業を誘致し、同様に住宅(宅地)の誘致も必要だと思います。
- 有力企業の誘致策。

- 何か魅力のある街づくり 若者が住みたいと思う街づくり(高齢者へのケアももちろん大切ですが)。
- 住みよいまちづくり 安心して住める環境づくり。
- 若者がUターンできる環境作り、起業の支援、行列のできる店があってもいいのではないか、飲食業で外国の研修生を取込み、母国で帰って店をもたせ支店を作る。

豊郷町まち・ひと・しごと創生
「人口ビジョン・総合戦略」に関するアンケート調査
町民アンケート・事業所アンケート

報 告 書

発行年月：平成 27 年 11 月

発行：豊郷町

編集：総務企画課 企画調整係

住所：〒529-1169 滋賀県犬上郡豊郷町石畑 375

電話：0749-35-8112